

田舎ぐらし

地域づくり

しごと体験

若者の地方体験交流のご案内

2013年度版

第2のふるさとづくり

美味しい空気、きれいな水

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら→



URL : http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

No. 1	北海道ニセコ町	No. 24	石川県小松市
No. 2	北海道当麻町	No. 25	福井県大野市
No. 3	北海道遠別町	No. 26	福井県鯖江市
No. 4	北海道新得町	No. 27	福井県越前市
No. 5	北海道標津町	No. 28	山梨県南アルプス市
No. 6	青森県七戸町（※）	No. 29	長野県長野市
No. 7	岩手県久慈市	No. 30	滋賀県栗東市
No. 8	宮城県栗原市	No. 31	奈良県川上村
No. 9	秋田県鹿角市（※）	No. 32	和歌山県紀美野町
No. 10	山形県小国町	No. 33	和歌山県紀美野町
No. 11	山形県遊佐町	No. 34	和歌山県日高川町
No. 12	福島県会津若松市	No. 35	島根県大田市
No. 13	福島県郡山市	No. 36	山口県長門市
No. 14	福島県喜多方市	No. 37	徳島県美波町
No. 15	福島県会津坂下町	No. 38	愛媛県宇和島市
No. 16	茨城県常総市	No. 39	愛媛県八幡浜市
No. 17	茨城県笠間市	No. 40	高知県佐川町
No. 18	群馬県桐生市	No. 41	長崎県対馬市
No. 19	新潟県長岡市	No. 42	長崎県小値賀町
No. 20	新潟県村上市	No. 43	熊本県小国町
No. 21	新潟県妙高市（※）	No. 44	大分県大分市
No. 22	新潟県粟島浦村	No. 45	鹿児島県薩摩川内市
No. 23	富山県南砺市（※）		

※ 和歌山県紀美野町の No.32 と No.33 は受入主体が異なる交流事業となります。

※ 参加申込書は最終ページにありますので、ご利用下さい。

なお、上記で※がある No.6、9、21、23 は指定の参加申込書で応募して下さい。

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 : 北海道ニセコ町 (人口: 4, 860人: 平成24年12月末現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR函館本線 ニセコ駅 札幌駅から約160分
都市間バス 札幌から約170分 ※いずれも本数が少ないので注意してください

(2) 事業実施の目的等

「さまざまなまちや人々との連携」を主旨に、全国各地から大学生を受入れ、町民・職員との交流や意見交換の中から、まちづくりのヒントや情報を得たい。

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none">・自主的なテーマ設定のもとでの地域調査及びまちづくりへの提言・地域イベント(神社祭りなど)への参加と協力・農作業体験 など

(4) 受入主体

ニセコ町

(5) 受入期間

期間指定2週間(8月中旬~下旬を予定) 詳しくはお問い合わせください。
--

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 本人負担 宿泊費: 半額程度助成 食事代: 本人負担
①要件	地方での活動・地域づくりに関心があり、自主的に取り組むことができる意欲と行動力のある学生
②応募締切り	お問合せください
③宿泊施設	町内宿泊施設(ペンションなど)を紹介予定
④食事形態	町からの提供なし。宿泊施設に依頼可(本人負担)
⑤その他	汚れてもいい服装。長靴を用意してください 自転車の貸出あり

(7) 地域担当者から一言

ニセコ町では、町の独自事業としてインターンシップを実施しています。期間の指定など条件はありますが、意欲のある学生の来町をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 ニセコ町	担当部署 企画環境課経営企画係
(ふりがな) ふくい さき 担当者氏名 福井 沙紀	TEL: 0136-44-2121 (直通) FAX: 0136-44-3500
E-mail: kikaku@town.niseko.lg.jp	
URL: http://www.town.niseko.lg.jp/	
応募宛先 〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 2 : 北海道当麻町 (人口: 7, 089 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農林課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

(2) 事業実施の目的等

北海道のど真ん中、大雪山の麓に広がるこの当麻町の各所で行われる、人と仕事と風土を知るための体験活動から、この町ならではの魅力を感じ取っていただき、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、この町の生活者とは異なる視点・見方で発見していただき、今後のまちづくりの一案とさせていただきますことを期待しています。

また、貴重なこの経験から、当麻町が皆さんの第2のふるさとになることを念願しています。

(3) 体験の内容

農業体験・・・北海道一の米産地であるとともに、「でんすけすいか」などの施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、野菜の栽培から出荷まで農家が行う一連の作業を体験します。

福祉体験・・・国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する社会福祉法人当麻かたるべの森が所有する22畝の癒しの森「かたるべの森」にて、同法人のアウトドア事業セクションの補助スタッフとして、知的ハンディを持つ同森利用者の支援に当たります。

資源調査・・・上記体験分野をはじめ、環境・観光等あらゆる資源のまちづくり案を町職員と検討します。また、単一の町だけに止まらない広域的な地域づくりを検討する観点から、近郊の観光地への訪問、または、大雪山トレッキングを行う等して広域的な観光資源や自然資源、さらには、まちづくり策の掘り起こしも行います。

地域行事参画・・・地域で行われる大小イベントに参加し、幅広い交流を図ります。

体験報告会・・・体験調査活動の報告会を行います。

(4) 受入主体

当麻町

(5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までの間の連続3週間で調整

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費・食事代・交流会費・資源調査時施設入館料等：自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生。 生産活動としての農業をはじめ、農と福祉または環境との連携等の農を生かした地域づくり、さらには自然環境を生かした地域づくりなどに興味があり、積極的に地域に入っていきける健康で明るい方。 募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月21日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	宿泊先が提供。資源調査時は当麻町が提供。
⑤その他	各種体験活動で行われる作業について、各自の要望や体力に応じたメニューを設定するほか、受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

全国的にも有名な「でんすけすいか」のまち当麻町です。
未知の場所での農体験や地域行事への参加、田畑や山をバックにしてのフィールドワークは、将来の仕事や生き方にとってもなく強烈な原体験となるでしょう。
意欲ある皆さんの来町を心からお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農林課 農政係
(ふりがな)	せと まさのり	TEL	: 0166-84-2123
担当者氏名	瀬戸 正規	FAX	: 0166-84-4125
E-mail	: Seto-m@town.tohma.hokkaido.jp		
URL	: http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/		
応募宛先	〒078-1314 北海道上川群当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農林課		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 : 北海道 ^{えんべつちょう} 遠別町 (人口 : 3, 015 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【沿岸バス】札幌駅から沿岸バス遠別営業所まで 約4時間
沿岸バス遠別営業所から徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

『人と人のつながりを大切に、住みたくなるまち えんべつ』をテーマに、地域おこし協力隊と移住コーディネーターなどを通じて様々な体験プログラムを行っていただき、そこで地域の人たちと交流し、町の豊かな自然を楽しんでもらい、魅力を知り、発信してもらう。

(3) 体験の内容

- ・農作業体験：町内の受入れ農家で「お試しのお試し」のような体験です。
- ・そば打ち体験：地域の人と交流しながら、遠別産そば粉を使用しての手打ちそば作りです。他にも体験プログラムをご用意し、どれも地域の人たちとの交流が楽しめます。

(4) 受入主体

遠別町

(5) 受入期間

9月18日(水)～9月24日(火)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：本人負担 宿泊費：無料 食事代：本人負担
①要件	都市圏に在住している大学生・大学院生。農業をはじめとする第一次産業や地域づくりに興味があり、積極的に地域の人とコミュニケーションがとれる好奇心を持っている方。男女問わず、最大15名程度を予定。
②応募締切り	平成25年6月末まで
③宿泊施設	遠別町移住交流支援センター「ぴーふる」
④食事形態	宿泊施設での自炊
⑤その他	各種体験プログラム等の参加するにあたってのご相談や詳細については、メール、電話、FAXで下記の担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

遠別町は、人口の少ない小さな町だからこそ「人と人のつながりを大切に」しており、人とのつながりを感じ、様々な経験を多く積んでいただきたいです。町の新たな魅力を発見していただくことで、みなさんの今までには無い新鮮な視点が加わることにより、新しい遠別町へ変わっていき、創り上げられると思っております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 遠別町	担当部署 総務課 企画振興係
(ふりがな) のむら たつひろ 担当者氏名 野村 達宏	TEL : 01632-7-2111 FAX : 01632-7-3695
E-mail : kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp	
URL : http://www.town.embetsu.hokkaido.jp	
応募宛先 〒098-3543	北海道天塩郡遠別町字本町3丁目 遠別町役場総務課企画振興係

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどうしんとくちょう

No. 4 : 北海道新得町 (人口 : 6, 536人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R利用 : J R札幌駅から新得駅まで1時間42分
飛行機利用 : とかち帯広空港からバス・J Rの乗り継ぎ利用で約70分

(2) 事業実施の目的等

当町の農村地域において、農作業や農家民泊などを体験し、農村地域の良さを感じていただくとともに、生産現場に立ち会うことで食の大切さや関心を高め、新得町のファンや応援団になっていただくことを目的としています。

(3) 体験の内容

農作業体験 (搾乳体験、農作物収穫体験など)
地域イベントへの参加
地域文化の体験

(4) 受入主体

新得町農村ホームステイ協議会

(5) 受入期間

通年 (要事前相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 参加者負担 体験費用 : 10,000円程度 (宿泊代・食事代込)
①要件	農村地域での農作業体験・農家民泊に関心のある元気な方
②応募締切り	希望日の概ね1ヶ月前までに申込み
③宿泊施設	農家民泊、公共施設等
④食事形態	受け入れ先で提供
⑤その他	農作業のできる服装、長靴、着替え、洗面道具、タオルなどを用意してください

(7) 地域担当者から一言

当町は北海道の重心に位置しています。北海道のど真ん中で雄大な自然を感じながら、農作業体験等を行い、当町の魅力や食の生産現場を知っていただければ嬉しいです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新得町役場	担当部署 地域戦略室地域戦略係
(ふりがな) ながおか いさむ 担当者氏名 長岡 勇	TEL : 0156-64-0521 (直通) FAX : 0156-64-4013
E-mail : chisen@town.shintoku.hokkaido.jp	
URL : http://www.shintoku-town.jp/	
応募宛先 〒081-8501 北海道上川郡新得町3条南4丁目26番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 5 : ^{しべつぐんしべつちょう}北海道標津郡標津町 (人口 : 5, 604人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

中標津空港より車で25分、JR 釧路駅より車で2時間、道東道足寄 IC より車で3時間30分
釧路空港より車で2時間、女満別空港より車で2時間30分

(2) 事業実施の目的等

- ・都市住民などとの人・物の交流の活性化による地域活性化
- ・自然環境や産業などの生産活動を活用した地域間交流

(3) 体験の内容

・自然、産業等を活用した体験プログラム各種 (要望に合わせて応相談)
総合的鮭学習 (鮭水揚げ見学 (早朝)・地域 HACCP 学習・サーモン科学館で行う鮭学習 (施設見学・鮭解剖等)・鮭加工体験 (新巻き鮭づくり・いくら作り体験)・サーモンフィッシング・溪流釣り)、
標津湿原散策とジャングルカヌー、海釣り、北方領土関連メニュー、酪農場見学、酪農民泊等

(4) 受入主体

標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担
①要件	特になし
②応募締切り	特にないが、概ね1ヶ月前までの事前調整 (体験内容宿泊等) が必要
③宿泊施設	町内宿泊施設を利用 (希望体験内容によって、民家宿泊の可能性有り)
④食事形態	町内バーベキューハウス、飲食店、宿泊施設を利用
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

平成13年よりこれまでに150校を超える小中高校、大学など団体の教育旅行を受け入れており、北海道東標津町ならではの自然・産業を活かした体験活動を提供しております。ご興味がありましたら、ご一報ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 標津町	担当部署 商工観光課
(ふりがな) 担当者氏名 観光担当係長 佐賀 周逸	TEL : 0153-82-2131 FAX : 0153-82-1787
E-mail : kankou@shibetsutown.jp	
URL : http://www.shibetsutown.jp	
応募宛先 〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1-3	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 6 : あおもりけんかみきたぐんしちのへまち **青森県上北郡七戸町** (人口: 17, 390人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

◆ JR東北新幹線 七戸十和田駅

(2) 事業実施の目的等

毎年恒例となっている事業の一つ「七戸町かだれ塾」(小学校5・6年生対象の田舎体験イベント事業)のサポート隊を募集します。農家や参加児童の援助をしていただく一方、子供達や地域住民との交流を楽しみ、更に地域の良さ・温かさを実感してもらいたいと思います。そして「また行こう七戸町!」と言ってもらえるようなフレンドリーな間柄になることを目的とします。

(3) 体験の内容

8月1日	七戸十和田駅 13時集合	事前研修	※「大罇川ラフティング」「田んぼの生き物
8月2日	かだれ塾 2013	1日目	探し」「ドラム缶風呂」「農業体験」等を
8月3日	かだれ塾 2013	2日目	
8月4日	かだれ塾 2013	3日目 16時頃解散	予定しています。

(4) 受入主体

七戸町かだれ田舎体験協議会

(5) 受入期間

8月1日(木)～8月4日(日)の4日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	子供と接するのが好きな大学生、大学院生 8名程度
②応募締切り	7月5日(金) 必着 指定の申込用紙に必要事項を記入の上、在学証明書又は学生証の写しを添えて担当者まで郵送をお願いします。(応募多数の場合、書類審査の上決めさせていただきます。)
③宿泊施設	農家民宿(子供達と一緒に宿泊)
④食事形態	共同調理等
⑤その他	イベント期間中は協議会負担で傷害保険に加入します。 上記体験の内容に書かれている日程は、変更する場合があります。

(7) 地域担当者から一言

当協議会は、グリーン・ツーリズム事業に取り組んでおり、毎年夏休み期間に小学生高学年を対象とした「かだれ塾」を開催しています。ホームページには過去の「かだれ塾」の様子をアップしていますので、楽しそうな子供達の様子をぜひご覧下さい。会員の農家さんは、普通の旅では知り合うことが出来ない、温かい心の持ち主ばかりです。子供達を一緒に見守りながら、楽しい夏休みの思い出を作りませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	青森県七戸町	担当部署	七戸町農林課 内 七戸町かだれ田舎体験協議会事務局
(ふりがな)	こばやし よしかず	TEL	: 0176-68-2116 (直通)
担当者氏名	小林 義和	FAX	: 0176-68-2804
E-mail	: yoshikazu-kobayashi@town.shichinohe.lg.jp		
URL	: http://www.kadaretenma.com		
応募宛先	〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上 131-4 七戸町役場農林課 内 七戸町かだれ田舎体験協議会 事務局		

参加申込書

「七戸町かだれ塾2013・サポート隊」に以下のとおり参加申込みいたします。

氏名	(ふりがな)			写真添付 (4cm×3cm)		
生年月日	西暦	年	月 日		年齢	歳
所属大学等						
住所	〒					
電話番号	(自宅) ----- (携帯)					
メールアドレス						
緊急連絡先	ご家族氏名	(ふりがな)				
	電話番号					
アレルギー (食べ物や動物等)	あり(具体的に)			なし		
ー自己PRメッセージー						
ー七戸町かだれ塾2013企画に関する意見やアイデアがありましたら、お気軽にどうぞー						

※申込締切りは、7月5日(金)必着です。在学証明書又は学生証の写しを同封の上郵送願います。

※応募多数の際は、書類審査の上決めさせて戴きます。

※緊急連絡先電話番号は、ご家族にすぐ連絡が取れる番号をご記入願います。(緊急時以外には使用いたしません)

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 7 : ^{いわてけんくじし}岩手県久慈市 (人口: 37,821人【H24.12.31現在】)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

九戸 IC から車で 60 分
東北新幹線二戸駅から車で 70 分 (新幹線リレーバス)

(2) 事業実施の目的等

- ① 地域内外の交流による地域活性化
- ② 取組の客観的評価によるサービス向上

(3) 体験の内容

- 【1】教育旅行及び野外活動受入補助
- 【2】キャンプ受入補助 (グループスタッフとして参加者と行動を共にする)

(4) 受入主体

岩手県久慈市

(5) 受入期間

- 【1】5月上旬から9月下旬ごろまでのうち7日間程度
- 【2】7月30日(火)から8月3日(土)の5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 ※東京都からお越しの場合 (東北新幹線利用) 新幹線代 (往復) 30,000 円程度 バス代 (往復) 3,000 円程度
① 要件	大学生もしくは大学院生で地域の取組みを盛り上げてくれる方
② 応募締切り	原則1ヶ月前にはお問合せ下さい
③ 宿泊施設	【1】公共施設 (コテージ等) 【2】キャンプ
④ 食事形態	【1】全て提供 【2】キャンプ参加者と共に自炊
⑤ その他	

(7) 地域担当者から一言

久慈市では、教育旅行 (修学旅行) 受入等体験型観光の推進に取り組んでいます。地域づくりの取組み等を肌で感じる事が出来ると思います。一緒に活動しながら、交流の輪を広げましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県久慈市	担当部署 産業振興部交流促進課交流促進グループ
(ふりがな) まつうら ゆい 担当者氏名 松浦 優衣	TEL: 0194-52-2168 (直通) FAX: 0194-52-3653
E-mail: y-matuura@city.kuji.iwate.jp	
URL: http://www.city.kuji.iwate.jp	
応募宛先 〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1 久慈市産業振興部交流促進課 若者の地方体験交流 係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

みやぎけんくりはらし

No.- 8 : 宮城県栗原市 (人口: 74,891人 ※H24.12.31現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線: くりこま高原駅下車 徒歩0分 (東京から約2時間30分)
高速バス: 東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車徒歩0分
(仙台から約1時間20分)

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組んでいます。本事業では、学生の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験したりしながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究します。
さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元スタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。
例: 農作業体験…田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験…森林や竹林等での作業体験
地方の暮らし体験…地方に伝わる家庭の行事体験 その他…資源調査、直売所のお手伝い等

(4) 受入主体

・栗原市産業経済部田園観光課 (くりはら研究所)
・くりはらツーリズムネットワーク

(5) 受入期間

① 8月中旬 3泊4日
② 9月中旬 3泊4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者 宿泊費: 受入主体 食事代: 受入主体・一部自己負担
①要件	・大学生、大学院生 (都市、地方は問いません) ・地方、田舎に関心のある人 ・ インターン終了後も、栗原市の観光事業に協力できる方
②応募締切り	・各回1カ月前 ※各回4~8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊 ・宿泊施設
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤その他	・動きやすく、作業できる服装・シューズ (サンダル・ハイヒール不可) をご用意ください

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルの約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然が豊かで、田園風景が広がる場所です。広い栗原で、地方の暮らしや農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名	宮城県栗原市	担当部署	産業経済部田園観光課観光企画係 (くりはら研究所)
(ふりがな)	しらとり ゆか	TEL:	0228-22-1151 (直通)
担当者氏名	白鳥 裕香	FAX:	0228-23-5370
E-mail:	kanko@kuriharacity.jp		
URL:	http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html		
応募宛先	〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3 (くりこま高原駅内)		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 9 : あきたけん かづのし
秋田県 鹿角市 (人口 : 34,392人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線 盛岡駅下車→ ①高速バスみちのく号 JR花輪線 鹿角花輪駅前下車(1時間30分)
(東京駅から2時間40分) ②JR花輪線 鹿角花輪駅下車(2時間)

(2) 事業実施の目的等

首都圏および仙台圏の学生・社会人の方を対象として、本市の豊かな自然環境の中で農業や観光、地域活動の仕事を体験する機会を提供することにより、交流人口の拡大を図ります。

(3) 体験の内容

- ・農作業体験(野菜・果物の収穫など)
- ・NPO活動(NPO法人の作業体験など)

※受入先の作業内容によりますが、概ね日中の作業になります。

(4) 受入主体

鹿角市(NPO法人に委託予定)

(5) 受入期間

8月下旬～10月下旬
(この期間のうち希望する3泊4日以上)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：JR鹿角花輪駅までの往復交通費は自己負担 宿泊費：無料 食事代：無料 その他：滞在中の作業時間外に係る費用は自己負担
①要件	首都圏・仙台圏在住の18歳以上の学生・社会人で、宿泊しながら作業体験が可能な方。
②応募締切り	実施希望日の2週間前まで、指定の参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、メールまたはFAXでお申込みください。
③宿泊施設	受入先に宿泊(ホームステイ)
④食事形態	受入先で提供(自己負担なし)
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害保険を適用します(自己負担なし) ・JR鹿角花輪駅から受入先までは観光交流課で対応します。 ・受入先の都合上、同性2～3名での申込みに限らせていただきます。 ・持ち物(着替え、洗面道具、タオル類、動きやすく汚れてもいい服装、帽子、長靴、健康保険証)

(7) 地域担当者から一言

自然の中で汗を流してリフレッシュしたい、食と農を体験的に学びたい、田舎暮らしを体験したい、こんな方にお勧めです。

(8) お問い合わせ先

自治体名	秋田県 鹿角市	担当部署	産業部 観光交流課
(ふりがな)	にたどり えみこ	TEL : 0186-30-1310 (直通)	
担当者氏名	似鳥 恵美子	FAX : 0186-30-1515	
E-mail	kankou@city.kazuno.lg.jp		
URL	http://www.city.kazuno.akita.jp		
応募宛先	〒018-5292	秋田県鹿角市花輪字荒田4-1 鹿角市産業部観光交流課	

かつのdeワーキングホリデー参加申込書

1. 参加者 代表者の の方に ○ をして 下さい	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
2. 希望期間	月 日から 月 日まで 泊 日					
3. 交通手段	(鹿角市までの交通手段をご記入ください)					
4. 代表者の 連絡先	T E L		携帯電話			
	F A X		Eメール			
5. その他	やってみたい作業体験等があればご記入ください。					

※参加申込書は郵送又はメール・FAXで下記まで提出してください。(※切:実施希望日の2週間前)

※ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用いたしません。

鹿角市産業部観光交流課 行き

〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4-1

Tel 0186-30-0248 Fax 0186-30-1515 E-mail kankou@city.kazuno.lg.jp

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 0 : おぐにまち **山形県小国町** (人口 : 8, 7 4 3 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 米坂線 小国駅下車 循環バス 役場前バス停

(2) 事業実施の目的等

- ・ インターンシップに来た学生が小国町の中で様々な活動を行い、多くの人々と意見交換することにより、町のにぎわいや元気を生み出す。
- ・ 全国各地で小国町の魅力を紹介し広めてくれるような、小国町のファンを増やす。
- ・ 地域づくりにふれることで、そのやりがいや楽しさを感じてもらい、将来参画しようとする人づくりにつなげる。

(3) 体験の内容

- ・ 農林畜産業体験
- ・ 地域行事(盆踊り・小正月行事など)への参加
- ・ 森林セラピー体験
- ・ 地域の食文化体験(地域に伝わる料理の調理、試食) など

(4) 受入主体

山形県小国町

(5) 受入期間

- ① 8月上旬7日間程度
- ② 1月中旬5日間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、食事代 など
①要件	地域づくりに興味があり、将来的に地域づくりに関わってみたい大学生及び大学院生
②応募締切り	①6月下旬頃、②12月上旬頃
③宿泊施設	町宿泊施設 など
④食事形態	
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

白い森の国“おぐに”は、東京23区がすっぽり入るほど広い、自然いっぱい人情いっぱいの町です。小国町では、森との関わりによって先人が育んできたぶな文化やマタギ文化、森の癒し効果を体感できる森林セラピー基地など、古いものと新しいものが共生しています。ぜひ、このでっかい小国町に来て、いろいろな人と出会い、いろいろなことを体験して、白い森の国のファンになってください。

(8) お問合せ先

自治体名 山形県小国町	担当部署 総務企画課行政管理室法務行政担当
(ふりがな) えんどう あい 担当者氏名 遠藤 愛	TEL : 0238-62-2112 (直通) FAX : 0238-62-5464
E-mail : soumu@town.oguni.yamagata.jp	
URL : http://www.town.oguni.yamagata.jp/	
応募宛先 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ゆざまち

No. - 1 1 : 山形県遊佐町 (人口 : 15,498人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 羽越本線 遊佐駅下車 徒歩3分 (遊佐町役場)

(2) 事業実施の目的等

遊佐町での体験を通して、遊佐町を知らない若い方のフレッシュな視点で町の活性化につながるアイデアを提案していただくことを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・パプリカ、枝豆、メロン、スイカ等の収穫体験
- ・東京都豊島区で開催している産直販売の出荷準備、販売体験
- ・地域イベントへの参加
- ・観光資源めぐり
- ・体験を通して感じた、町の活性化につながるアイデアの提案 等

(4) 受入主体

- ・遊佐町
- ・遊佐ノ市実行委員会

(5) 受入期間

8月初旬～9月上旬の間で
10日～14日間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費、食事代：町で負担(交流会費や外食などは一部自己負担の場合あり)
①要件	20歳以上の大学生、大学院生 2名程度
②応募締切り	平成25年6月14日(金)(応募者多数の場合 書類審査)
③宿泊施設	農家民泊、公共施設等
④食事形態	受入先で提供
⑤その他	体験内容などについて質問等ありましたら、気軽にお問合せください。

(7) 地域担当者から一言

遊佐町は鳥海山、日本海、庄内平野に囲まれた自然豊かな町です。また、この自然に育まれたおいしいお米(生活クラブ生協で取り扱うお米の6割が遊佐産です。)や、夏にしか食べることのできない天然岩ガキ、糖度抜群の砂丘メロン、生産者数日本一のパプリカなど、食の宝庫でもあります。遊佐町での暮らしをぜひ体験してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 遊佐町	担当部署 企画課 まちづくり支援係
(ふりがな) どもん よしのり 担当者氏名 土門 良則	TEL : 0234-72-4524 (直通) FAX : 0234-72-3315
E-mail : iimachi@town.yuza.yamagata.jp	
URL : http://www.town.yuza.yamagata.jp/ http://yuza-brand.jp/yuzanoichi.html	
応募宛先 〒 999-8301	山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴 2 1 1

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 2 : ^{あいづわかまつし} 福島県会津若松市 (人口 : 124, 515 人) H25. 1. 1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R磐越西線 会津若松駅
高速バス 新宿駅・東京駅～会津若松駅他
自家用車 磐越自動車道 会津若松 I C・磐梯河東 I C

(2) 事業実施の目的等

農家においては、農繁期などの負担軽減や都市住民との交流による地域活性化に繋がり、参加者においては、農家に滞在して農作業に従事することにより、農業・農村をより深く理解してもらう機会となることを目的としています。

(3) 体験の内容

「会津若松市ワーキングホリデー」
・ 水稲、野菜、果樹などの各種作業のお手伝い
・ 農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

会津若松市

(5) 受入期間

通年受け入れ
(滞在日数は2泊3日以上で農家が希望する時)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：なし 食事代：なし
①要件	一定期間きちんと農作業を手伝える方
②応募締切り	希望する初日の2週間前まで 「ワーキングホリデー参加申込書」に必要事項を記入のうえ、会津若松市農政課まで郵送、FAX、電子メールで申込み
③宿泊施設	受入農家
④食事形態	受入農家で提供
⑤その他	・ 作業ができる服装、着替え、洗面道具、タオルなどを準備してください。 ・ 長靴の無料レンタルも行っています。(サイズ、数量に限りがあります。)

(7) 地域担当者から一言

会津若松市はたくさんの史跡や四季折々の自然など観光資源が豊富なまちです。その一方で農業も大変盛んで、水稲、野菜、果樹など、あらゆる農作物を栽培しており、いろいろな農作業や農村体験をすることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 会津若松市	担当部署 農政部 農政課 農業活性化グループ
(ふりがな) しらい くにこ 担当者氏名 白井 邦子	TEL : 0242-39-1253 (直通) FAX : 0242-39-1440
E-mail : nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp	
URL : http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp	
応募宛先 〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくしまけんこおりやまし
No.- 1 3 : 福島県郡山市 (人口 : 3 2 8 , 1 5 8 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東北本線・東北新幹線 郡山駅下車 福島交通 市役所前バス亭

(2) 事業実施の目的等

・農家民宿体験を通じ、地域を実感してほしい。

(3) 体験の内容

・農家民宿体験
・農業体験 (季節に応じた作業体験)
・郷土料理づくり等、各種プログラムの体験

(4) 受入主体

郡山ふるさと田舎体験協議会

(5) 受入期間

通年 (要相談) ※1泊2日～2泊3日が基本

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：要相談 宿泊費：素泊 4,000円～ 1泊2食 6,000円～ 体験費：別途 (要相談)
①要件	田舎 (自然) が好き、人とふれあいが好き、好奇心旺盛な人
②応募締切り	無し ※利用希望日の1ヶ月前 前後にご相談願います。
③宿泊施設	農家民宿 (20名程度を上限) 公共施設 ※季節によってご利用いただけない場合があります。
④食事形態	農家民宿では朝・夕を提供 (昼食は別途) 公共施設は自炊 (食材提供は可能)
⑤その他	田舎の農家生活を実体験して頂きます。 申込人数によっては、公共施設を利用させていただく場合があります。

(7) 地域担当者から一言

自然条件に恵まれた本市にて、季節を感じながら農家民宿を通じた農業体験をしてみませんか？

(8) お問合せ先

自治体名 福島県郡山市役所	担当部署 農林部 農政課 農政企画係
(ふりがな) あべ けんじ 担当者氏名 阿部 健司	TEL : 024-924-2201 (直通) FAX : 024-938-3150
E-mail : nousei@city.koriyama.fukushima.jp	
URL : http://www.	
応募宛先 〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 4 : ^{きたかたし} 福島県喜多方市 (人口 : 5 1, 0 3 2 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

公共交通 : JR 磐越西線・喜多方駅
自家用車 : 磐越自動車道・会津若松 IC から約 2 0 分

(2) 事業実施の目的等

都市住民が農業を手伝いながら、農村に滞在し、ありのままの農家生活を体験し、心身のリフレッシュや農業技術の習得などを図ります。

(3) 体験の内容

「喜多方ワーキング・ホリデー」
農作業を手伝うことで農家に労働力を提供し、その対価として、農村に滞在するための食事・宿泊は農家から提供を受けます。
・農業体験 (稲作、グリーンアスパラガスなどの野菜、果樹など)
・農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

通年 (主に 4 月 ~ 1 0 月)
滞在期間 : 2 泊 3 日以上 1 週間以内

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 無料 食事代 : 無料
①要件	農業や農村に興味がある方 喜多方での暮らしを体験してみたい方 就農を考えている方
②応募締切り	希望する日 (初日) の 2 週間前まで
③宿泊施設	受け入れ農家
④食事形態	受け入れ農家で提供
⑤その他	農作業できる服装、着替え、洗面用具、タオルなどは持参してください。 傷害保険に加入 (自己負担) されることをおすすめします。

(7) 地域担当者から一言

喜多方市は西に飯豊連峰、東に雄国山がそびえ、豊かな自然が広がっており、さらに田園と蔵が美しい農村景観を形成しています。そんな喜多方で、ぜひ田舎暮らし体験や農業体験をしてみませんか。お待ちしております。

(8) お問合せ先

自治体名	喜多方市	担当部署	産業部観光交流課グリーン・ツーリズム推進室
(ふりがな) 担当者氏名	えんどう たかし 遠藤 崇史	TEL : 0241-24-5237 (直通) FAX : 0241-24-5284	
E-mail	kankou-gt@city.kitakata.fukushima.jp		
URL	http://www.city.kitakata.fukushima.jp		
応募宛先	〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東 7 2 4 4 - 2 喜多方市役所		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-15 : 福島県 あいづばんげまち 会津坂下町 (人口 : 16,923 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

①東北新幹線郡山駅下車 磐越西線にて会津若松駅へ
②高速バス：新宿～会津若松 東京（鍛冶橋）～会津若松
只見線にて会津坂下駅もしくは会津バス会津若松会津坂下路線バスにて町役場前下車

(2) 事業実施の目的等

地域の廃校活用についてアイデア提案を受けたい。 都市農村交流推進・農村地域で生産現場に関わりを体感してほしい。
--

(3) 体験の内容

廃校になった分校の校舎を活用してアートを中心に地域で活動する里山のアトリエ坂本分校は、町の委託を受け福島県森林環境事業を地域との関わりの中で積極的に進めています。 ・里山保全や森林環境学習活動の交流体験 グリーン・ツーリズム促進委員会 ・ワーキングホリデー（本格的農業体験）
--

(4) 受入主体

里山のアトリエ坂本分校 会津坂下町グリーン・ツーリズム促進委員会

(5) 受入期間

7月～9月：3カ月の内 3泊4日～6泊7日：ご相談に応じます。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：新幹線利用の場合：18,000円程度（往復） 高速バス利用の場合：6,000円～10,000円（往復：要予約時期により変動） 宿泊費：農家民宿（1泊2食）5,500円・温泉旅館（1泊朝食）5,000円 農村環境改善センター（素泊：20名まで10,380円別リネン温泉代） 会津自然の家 食事代：農村環境改善センターの場合食材提供
①要件	廃校校舎の活用について考えてみたい方・里山保全活動等に関心のある方 都市農村交流への提案：元気で地域コミュニティに参加できる方大歓迎！！
②応募締切り	下記お問い合わせ先までご連絡ください。
③宿泊施設	農家民宿・温泉旅館・農村環境改善センター（公共）・会津自然の家（公共）
④食事形態	農家民宿（朝食夕食提供）昼食は各自
⑤その他	作業のできる服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

地域を体感し、元気で地域コミュニティに参加できる方大歓迎！！

(8) お問い合わせ先

自治体名 会津坂下町	担当部署 産業部 商工観光班（グループ）
(ふりがな) きらせいこ 担当者氏名 吉良成子	TEL：0242-83-5711（直通）or（内線） FAX：0242-83-5713
E-mail：nigiwai@town.aizubange.fukushima.jp	
URL：http://www.town.aizubange.fukushima.jp/index.html	
応募宛先 〒969-6592 福島県河沼郡会津坂下町字市中二番甲3650 会津坂下町役場 東分庁舎	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

じょうそうし
No.- 1 6 : 茨城県 常 総 市

(人口 : 6 4 , 1 2 8 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車：つくばエクスプレス守谷駅下車、タクシー約 20 分 関東鉄道常総線(取手駅乗り換え)小絹駅または水海道駅下車、タクシー約 15 分 高速バス：東京駅八重洲南口高速バス乗車場から約 65 分。水海道駅下車、タクシー約 15 分

(2) 事業実施の目的等

若者の体験の場として農作業や地域イベントスタッフを体験してもらうことにより、地域の暮らしや自然とのふれあいを感じてもらう。

(3) 体験の内容

① 農作業体験 (田植え・竹の子堀・うどん作り) ② " (稲刈り・さつまいも堀・うどん作り) ③ ほたる鑑賞会イベントスタッフ (イベントスタッフ・ジャガイモ堀・うどん作り) 他 茨城県自然博物館の見学

(4) 受入主体

(5) 受入期間

(財) あすなろの里	①農業体験(春の部) 田植え・竹の子掘り 4月28・29日	} 1泊2日 各5名 程度
	②農業体験(秋の部) 稲刈り・イモ掘り 9月28・29日	
	③ほたる鑑賞会 7月6・7日	

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費・食事代・体験料：無料
①要件	農作業や地域イベントに関心のある大学生・大学院生
②応募締切り	①農業体験(田植え) 4月15日 ②農業体験(稲刈り) 8月31日 ③ほたる鑑賞会 5月31日
③宿泊施設	あすなろの里 宿泊棟 (和室)
④食事形態	あすなろの里で提供
⑤その他	農作業のできる服装、長靴、着替え、洗面用具、タオル等をお願いします。

(7) 地域担当者から一言

「あすなろの里」は常総市の地形を生かして昭和54年に自然及び農業に親しむ機会を与えるとともに、教育・体力等の向上を目的に学童農園施設として開園しました。園内には、田畑をはじめ釣堀や体育館等、又、隣接には菅生沼(一望できる展望風呂があります。)や茨城県自然博物館があります。様々な体験を通して、自分を磨きませんか。
--

(8) お問い合わせ先

自治体名 常総市	担当部署 (財)水海道あすなろの里(産業労働部農政課)
(ふりがな) やまざき やすまさ 担当者氏名 山崎 康正	TEL : 0297-27-3481 (直通) FAX : 0297-27-2806
E-mail : asunaro@city.joso.ibaraki.jp	
URL : http://www.city.joso.lg.jp	
応募宛先 〒303-0045 茨城県常総市大塚戸町310番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 17 : 茨城県かさまし笠間市 (人口 : 78, 138 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR常磐線 岩間駅下車 徒歩20分

(2) 事業実施の目的等

笠間市の伝統的まつりの活性化と知名度の向上を目指す。
地方にあり古来から伝わる、まつりを若者に知って欲しい。

(3) 体験の内容

笠間市の愛宕神社(飯綱神社)で行われる奇祭「悪態まつり」の祭典である悪態吹聴、お供物争奪に参加し、まつりを盛り上げる。
参加者には、地元市民の手作り料理を振る舞い、愛宕神社の火防お守りを進呈する。

(4) 受入主体

笠間市 愛宕神社総代会

(5) 受入期間

12月15日(日) 1日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費： 食事代：昼食は用意いたします。(夕食は付きません)
①要件	健康で人前で大声を発することが出来る。ハイキング程度の歩行力必要。
②応募締切り	平成25年12月5日 17時まで 体験を希望する場合は、電話またはメールにて下記お問合せ先までご連絡ください。
③宿泊施設	日帰り
④食事形態	昼食付(夕食は付きません)
⑤その他	活動しやすく、汚れても問題のない服装、及び防寒対策

(7) 地域担当者から一言

日本三大奇祭の一つとも言われる「悪態まつり」は、参加し体験することで、祭りの趣旨が理解でき、その面白さと共に地方文化や風習を直に体験できます。

(8) お問合せ先

自治体名 笠間市	担当部署 産業経済部 商工観光課 商工グループ
(ふりがな) おざわ あつし 担当者氏名 小沢 敦	TEL : 0296-77-1101 (内線) 518 FAX : 0296-77-1146
E-mail : atsushi.ozawa@city.kasama.lg.jp	
URL : http://www.city.kasama.lg.jp/	
応募宛先 〒 309-1792 笠間市中央三丁目2番1号 笠間市役所 産業経済部商工観光課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 8 : ^{ぐんまけんきりゅうし} 群馬県桐生市 (人口 : 1 2 1, 7 4 8 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線 桐生駅下車 徒歩10分
東武鉄道桐生線 新桐生駅 おりひめバス(市役所前下車) 15分

(2) 事業実施の目的等

本市では、特に20~30代の若い世代が「まちなか」から離れていることから、その対応策として都市住民との交流や移住による「まちなか居住」さらには「二地域居住」の推進に努めている。こうした中、昨年度国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された地域のまち歩きや、伝統産業である織物業の体験、自然を生かした農業の体験、伝統と文化を継承する桐生八木節まつりへの参加などの体験プログラムを通し、住民との交流の中から、「住んでみたい」と思うような「まちづくり」の提言をいただき、地域の活性化につなげていくことを目的として実施する。

(3) 体験の内容

- ・桐生市の重点施策・観光施策・重要伝統的建造物群保存地区等についての概要説明
- ・桐生市の伝統産業である織物業の体験、桐生八木節まつりの手伝いと参加
- ・桐生市の各地域の特性を活かした農業等の体験やわたらせ渓谷鐵道沿線での体験学習
- ・桐生市の市民活動団体や地域住民、地元大学生との交流
- ・桐生市の体験施設や観光施設等での交流体験(参加学生の意見を取り入れて決定します)

(4) 受入主体

(5) 受入期間

桐生市地域づくり交流事業実行委員会	A : 7月31日(水)~8月中旬 2週間程度の予定 ※相談の上、日程を決定 B : 上記期間以外で随時 2泊3日以上(要相談)
-------------------	--

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：A 自己負担なし B 原則自己負担 食事代：A 原則自己負担なし B 原則自己負担
①要件	A : 20歳以上の大学生及び大学院生。市街地と田舎が共存する「まちなか」である桐生市に興味があり、自然・伝統・文化を継承しながら、地域の活性化を図るとともに、I・J・Uターンの促進に関心のある人。 B : 18歳以上の学生・社会人。桐生市に係わることを研究テーマとする人。体験内容は上記(3)から選択又は自分で体験場所等決めてください。(相談可)
②応募締切り	A : 6月14日(金)必着 別途の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載のうえ、担当者まで郵送にて申し込みをお願いします。 B : 随時 別途の募集参加申込書(写真添付不要)に必要事項を記載のうえ、郵送かメールにて担当者まで申し込みをお願いします。
③宿泊施設	お試し暮らし住宅、農家民宿、民泊など
④食事形態	A : 朝食・夕食は原則宿泊受入先で用意。昼食は原則実施主体で用意。 B : 原則自己負担。ただし、受入先によって用意もあり。
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。 Aのみ体験に入る前に東京でオリエンテーションを実施予定。 A : 国内旅行保険には実行委員会加入 B : 保険については自己負担

(7) 地域担当者から一言

桐生の自然、生活、文化等を「体験」する中で、桐生の良さを感じてもらい、「住みたい」と思うまちづくりのための提言をお願いします。また、一過性の受入で終わらせないため、「地域づくり交流事業(B)」として恒常的に若者の受け入れを行っております。是非一度、来てください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	桐生市	担当部署	産業経済部観光交流課交流促進係
(ふりがな)	くまだ よしゆき	TEL :	0277-46-1111 (内線 367)
担当者氏名	熊田 喜幸	FAX :	0277-40-1283
E-mail :	kanko@city.kiryu.gunma.jp		
URL :	http://www.city.kiryu.gunma.jp		
応募宛先	〒376-8501 群馬県桐生市織姫町1番1号 桐生市観光交流課内 桐生市地域づくり交流事業実行委員会 宛		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 19 : 新潟県長岡市 (栃尾地域) (人口 : 20,000 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京ー長岡駅 (上越新幹線 約100分) 高速バス 池袋ー長岡北 (約250分)
栃尾地域までは長岡駅からバス約50分 (栃尾車庫前)

(2) 事業実施の目的等

- ・持続可能な中山間地集落づくり
- ・交流を通して地域資源の再発掘や活用
- ・都市農村交流のきっかけづくり

(3) 体験の内容

- ・栃尾地域の山間部集落に1~2週間滞在し、地域の行事 (お盆のお祭り等) などへ参加
- ・実際に集落に滞在して生活文化の体験
- ・子供たちから高齢者まで幅広い世代の住民との交流
- ・地域資源を活用し8年前に起きた中越地震からの復興・地域づくりを考える

(4) 受入主体

財団法人 山の暮らし再生機構
長岡地域復興支援センター 栃尾サテライト

(5) 受入期間

8月 1日 (木) ~ 8月20日 (火)
20日間 ※期間は応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 参加者負担 宿泊費 : 受け入れ側負担 食事代 : 参加者負担
①要件	やる気のある大学生1年生~大学院生 (専門学校生含む) 募集人数 : 4人 (最大8人程度)
②応募締切り	7月8日 (月)
③宿泊施設	集落の公民館等又は、古民家
④食事形態	基本的に自炊 (昨年度実績1日1人300円程度※野菜やお米の提供あり)
⑤その他	活動期間中は、ボランティア活動保険等の任意保険に各自入ってもらいます。

(7) 地域担当者から一言

農村地域で住民と共に話し合いながら進める地域づくりを目指しています。やる気次第でいろいろなことに挑戦できるので意欲と体力のある方を募集しています!

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県長岡市	担当部署 栃尾支所地域振興課
(ふりがな) ふじた かつのり 担当者氏名 藤田 克則	TEL : 0258-52-5815 (直通) FAX : 0258-52-3990
E-mail : tco-chiiki@city.nagaoka.ne.jp	
URL : http://www.yamanokurashi.jp/shien/tochio/	
応募宛先 〒940-0012 新潟県長岡市金町2-1-5 財団法人 山の暮らし再生機構	長岡市栃尾支所3階 長岡地域復興支援センター 栃尾サテライト

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

むらかみし
No.-20 : **新潟県村上市** (人口 : 66,394 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線・JR羽越本線 府屋駅下車 村上市山北支所 (府屋駅から徒歩5分)

(2) 事業実施の目的等

都市部において、農業や地域の生業に興味のある方から参加を募り、野菜や米づくり、あるいは生業体験をとおして、地域のファンとなつていただくとともに、将来、交流定住への進展を目的としています。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (畑作り、田植え、各種野菜の栽培、収穫など)
- ・生業体験 (アケ笹巻づくり、山焼き、赤カブの加工など)

(4) 受入主体

村上市 (山北地区)
週末百姓やってみ隊

(5) 受入期間

別紙活動予定表の年10回の活動のうち
参加したい回に参加可能 (全日程参加も可)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担、食事代 : 自己負担 ※食品の加工等にかかる材料費も自己負担となります。
① 要件	農作業や人とのふれあいが好きで、田舎に興味がある人
② 応募締切り	各回活動日初日の2週間前
③ 宿泊施設	民宿等 (希望により手配します)
④ 食事形態	基本的に各自手配ですが、夕食は宿泊先によります。活動日2日目の昼食は500円で提供。(地元洋食店のシェフが旬の食材を使った昼食を格安で提供してくれます)
⑤ その他	農作業ができる服装を用意してください。(長靴は必須)

(7) 地域担当者から一言

この事業は、年間10回、1泊2日での農業や生業体験を通して、地域の魅力を伝え、参加者との交流を図りながら、地域ファンになってもらいたいというものです。土いじりから始まる田舎体験を楽しみ、畑と共にあなたの中の新たな一面も開拓してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 村上市	担当部署 山北支所 地域振興課 自治振興室
(ふりがな) あおき こういち 担当者氏名 青木 康一	TEL : 0254-77-3111 (直通) FAX : 0254-77-2217
E-mail : s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp	
URL : http://www.city.murakami.niigata.jp/sanpokulife/index.html	
応募宛先 〒959-3993 新潟県村上市府屋232	村上市山北支所地域振興課自治振興室

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 1 : ^{みょうこうし}新潟県妙高市

(人口 : 35,500 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 信越本線 新井駅下車

※新井駅から体験交流実施地域までは車で約 30 分 (受け入れ農家が送迎)

(2) 事業実施の目的等

高齢化・過疎化が進み集落機能が低下する山間地の農村の厳しい現状をふまえながらも、農家の暮らしの知恵や工夫、農林業の重要性、農山村の価値を体感してもらい、若者の当市への移住、就農の契機とすること。

(3) 体験の内容

- 決められたプログラムはなく、天候や季節によって変わる農家の 1 日をありのままに体験
例. 田畑や林道の草刈り・草取り、野菜の収穫や薪割り、郷土料理づくりなど
- 地域資源調査
- 上記を活用した交流人口増加や後継者確保に向けた提言

(4) 受入主体

妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会
妙高市 (水原地区、平丸地区、長沢地区)

(5) 受入期間

8 月中旬～8 月下旬
(要相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	○現地までの交通費：自己負担 電車 東京駅から長野新幹線利用で往復 18,000 円程度 バス 新宿駅西口又は池袋駅東口から高速バス利用で往復 10,000 円程度 ○宿泊費・食事代：無料 ○体験料：1 日 1,500 円 ○保険料：500 円
①要件	大学生及び大学院生
②応募締切り	平成 25 年 7 月 19 日必着 ※別紙参加申込書に必要事項を記入のうえ、下記応募宛先まで郵送ください (FAX、メールも可)。
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	朝・昼・夕の 3 食を提供 ※体験の内容によっては、共同調理となる場合があります。
⑤その他	申込先は「妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会」となります。 ※申込書の受付後、詳細な注意点や持ち物等についてご連絡いたします。

(7) 地域担当者から一言

若者を農山村に呼び込み、地域の元気を取り戻すにはどうしたらよいか、妙高の濃密なグリーンライフを通して考え、斬新かつ的確な提案をください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 妙高市	担当部署 農林課 農山村振興係
(ふりがな) まるやま ゆうじ 担当者氏名 丸山 裕治	TEL : 0255-74-0028 (直通) FAX : 0255-73-8206
E-mail : norin@city.myoko.niigata.jp	
URL : http://www.city.myoko.niigata.jp/	
応募宛先 ○住所 : 〒949-2235 新潟県妙高市大字関山 6186 番地 1 (妙高山麓都市農村交流施設内) 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会 ○TEL : 0255-82-3935 ○FAX : 0255-82-3936 ○E-mail : info@myoko-gt.com ○URL : http://myoko-gt.com/	

若者の地方体験交流 参加申込書

1. 基本情報

所属	(ふりがな)	()	氏名	
性別	男 ・ 女	年齢		血液型
電話番号 (携帯電話)	()	E-mail		
住所	〒			
緊急時の連絡先 (ご実家などの電話番号)		記入年月日	年	月 日

2. 健康状態について

これまでにかかった病気や現在かかっている病気、健康状況の調査票です。
以下の質問に、正直にお答えください。

①	不整脈など心臓疾患にかかったことがある。	はい ・ いいえ
②	狭心症あるいは心臓の手術を受けたことがある。	はい ・ いいえ
③	今までに心電図に異常があったことがある。	はい ・ いいえ
④	ぜんそく又は運動時に呼吸がくるしくなることがある。	はい ・ いいえ
⑤	高血圧である。	はい ・ いいえ
⑥	てんかん、発作、けいれんを起こすことがある。	はい ・ いいえ
⑦	意識喪失や気絶したことがある。	はい ・ いいえ
⑧	1年以内に病気やケガ、手術を受けたことがある。 (病名・時期)	はい ・ いいえ
⑨	現在、治療中の病気やケガがある。 (病名又は容態)	はい ・ いいえ
⑩	食べ物、動物、植物、環境などによって具合が悪くなったり、 皮膚に異常が出たりする場合がある。 「はい」の場合、原因となるものが分かる場合は記入ください。 (アレルギーの原因:)	はい ・ いいえ
⑪	スズメバチに刺されたことがある。	はい ・ いいえ
⑫	意識喪失や気絶したことがある。	はい ・ いいえ

※上記の項目で一つでも「はい」がある場合は、体験内容についてご相談させていただくほか、ご参加をお断りすることもございますので、予めご了承ください。

3. 記録物の2次利用について

体験活動中に写真や動画を撮影させていただきますが、それら記録物の2次利用についてうかがいます。

撮影した写真や動画をパンフレットやホームページに利用してもよろしいでしょうか。	はい ・ いいえ
---	----------

4. 個人情報について

この申込書は体験活動をより安全に行うためのものであり、活動終了後、当協議会が責任をもって処理します。

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 2 : ^{あわしまうらむら}新潟県粟島浦村 (人口 : 338 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 村上駅～(タクシー(乗合タクシー)～岩船港 15分
岩船港～(粟島汽船)～粟島港 高速船 55分 (普通船 90分)

(2) 事業実施の目的等

- ・都会の若者に、粟島の暮らしを体験してほしい。
- ・都会の若者の、「粟島の暮らし」についての意見が聞きたい。
- ・将来的には、可能であれば、都会と粟島の橋渡しの役割を担ってほしい。
(橋渡し=家族・親戚・友人・知人に紹介、遊びに来てもらう、一緒に遊びに来る、など)

(3) 体験の内容

- 「しまの生活まるごと体験」(※いわゆる観光的な体験ではありません)
- ・ホームステイ先のお手伝い(※忙しいときは、家業の手伝いのみとなってしまう日もあります)
→家業の手伝い(民宿・食堂など)、島のばばとの農作業体験、漁師さんと漁業体験など
 - ・地域行事の参加(七夕:8月7日、盆踊り:8月13~14日)

(4) 受入主体

粟島浦村

(5) 受入期間

7月下旬~8月下旬
のうちの14日間程度を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:船賃3,660円~7,380円 (普通船(片道)1,830円、高速船(片道)3,690円) 宿泊費:0円 食事代:0円
①要件	都市に暮らす若者
②応募締切り	7月中旬ころ(参加希望者とは、順次、連絡を取っていきます)
③宿泊施設	ホームステイ(希望があれば、住居提供可)
④食事形態	受入先にて提供していただきます。
⑤その他	食費の自己負担はありません。

(7) 地域担当者から一言

粟島は、お米以外はほとんど自給自足。お米も、物々交換で賄ってしまう島です。魚も野菜も旬のものを食べるからうまい!都会の暮らしとは大違いな粟島の暮らしのホントのところ。そんな島をホームステイで体感してもらいます。夏の島は観光のお客さんで大わらわ!時には家の手伝いがすごく忙しいことも。若いうちに体感できるなんてラッキーです。ぜひ、体で感じて、感じたままを伝えてください。多くの方の問い合わせ、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 粟島浦村役場	担当部署 総務課
(ふりがな) もりた まさと 担当者氏名 森田 真人	TEL: 0254-55-2111 (直通) FAX: 0254-55-2159
E-mail: project@vill.awashimaura.lg.jp	
URL: http://www.vill.awashimaura.lg.jp/	
応募宛先 〒958-0061 新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513-11	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-23 : 富山県南砺市

(人口 : 54,928人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

名古屋高速バス (JR名古屋駅=五箇山インター口) 約2時間30分

(2) 事業実施の目的等

中山間地域の農地・景観の保全
地域の活性化

(3) 体験の内容

五箇山 (平・上平・利賀村地域) をエリアに農作業
農村伝統文化体験 (和紙の原料となる楮の管理、合掌家屋の屋根材となる茅の管理など)

(4) 受入主体

受付 : 『みんなで農作業の日』 実行委員会

(5) 受入期間

5月~10月のうち2泊3日程度
(受け入れ団体との調整が必要です)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 公共施設 : 1泊2,000~ 民宿 : 1泊4,000~ 食事代 : 自己負担
①要件	ボランティアとして、農作業の支援や農地の保全活動ができる人
②応募締切り	随時募集 別添の応募用紙をご記入の上、FAXをお願いします。(郵送、メール可)
③宿泊施設	民宿、公共施設 (自炊) など
④食事形態	近隣の飲食店や、宿泊先での食事等となります。(公共施設の場合は、自炊となります。)
⑤その他	作業ができる服装をご用意ください。 ボランティア保険等への加入もお願いします。 皆様のご希望と、地元の都合が合わない場合は、お断りすることもあります。

(7) 地域担当者から一言

南砺市の五箇山地域は、世界遺産の合掌集落を有するほか、「こきりこ」や「むぎや」など特異な文化、美しい農村景観を継承する大変貴重な地域です。でも、「高齢化や耕作条件の悪さ」から、継承の危機に直面しています。今、日本の農村は皆さんの若い力を必要としています。皆さんもぜひ、五箇山ならではのコーリャクをしてみませんか？

※コーリャク : 方言で「手伝う、助ける」の意味

(8) お問い合わせ先

自治体名 南砺市	担当部署 産業経済部 農政課 農産振興係
(ふりがな) とみた だいすけ 担当者氏名 富田 大輔	TEL : 0763-23-2016 (直通) FAX : 0763-62-2112
E-mail : nouseika@city.nanto.lg.jp	
南砺市ホームページ : http://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/index.jsp 『みんなで農作業の日』 : http://gazoo.com/G-Blog/GOKAYAMA_MURA010/Index.aspx	
応募宛先 〒939-1892	富山県南砺市城端1046

参加申込書

若者の地方体験交流に、以下の通り申し込みします。

送り先： 〒939-1892 富山県南砺市城端1046

あて先：富山県南砺市農政課農産振興係

電話：0763-23-2016 fax：0763-62-2112

メール：nouseika@city.nanto.lg.jp

住所	
氏名	
所属大学	
生年月日	
電話番号	(自宅)
	(携帯)
メールアドレス	
緊急連絡先	ご家族氏名(ふりがな)
	電話番号

以下、受け入れ調整の材料となりますので、ご記入ください。

ご希望の日程等	日程： 月 日 ~ 月 日
ご希望の作業内容	・農作業全般 ・楮(こうぞ：和紙の原料)の生産 ・茅(かや：合掌家屋の屋根材、地元産が不足しています)の生産 ・その他()
—若者の地方体験交流でやってみたいこと、学びたいこと— (その他ご質問等、自由にお書きください)	

ありがとうございます。内容を確認次第、お電話またはメールにて、調整をさせていただきます。申込者と受け入れ者の都合が合わない場合は、お断りすることもございますので、ご容赦願います。

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-24 : ^{こまつし}石川県小松市 (人口 : 109,290 人【H25.2.1 現在】)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

小松空港より車で40分。北陸自動車道小松IC・片山津ICより車で40分。
JR北陸線・小松駅より車で30分、粟津駅から車で20分。

(2) 事業実施の目的等

小松市滝ヶ原町は、滝ヶ原石の産地として、また本州でも珍しいアーチ型石橋が5橋現存するなど石文化が息づく小松市の代表的な里山である。そこで「ストーンアート・コミュニティ」・「アートツーリズム」を通し、この地で合宿し、石にまつわる作品の制作に取り組んでいただくことで、石文化の伝承そして若者とアートによる地域の活性化を目指す。

(3) 体験の内容

- ・石切り丁場の壁面を使ったレリーフ作成。
- ・石のモニュメント作成。
- ・地元の石職人を講師とした石の学校。

(4) 受入主体

石川県小松市

(5) 受入期間

4月1日(月)～12月20日(金)の期間中。時期・日数は要相談。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：里山自然学校こまつ滝ヶ原にて1団体(8名以上)5,000円程度必要。 食事代：自己負担
①要件	石を使ったアートに関心のある方。作品を制作し、町に残したい方、など。
②応募締切り	なし。受入期間内で随時受け付け。
③宿泊施設	条件付き、里山自然学校こまつ滝ヶ原(シャワーのみ)洗濯機あり。
④食事形態	上記にて自炊は可能。
⑤その他	1名から15名程度。

(7) 地域担当者から一言

自然豊かな里山でゆったり自由に作品制作に取り組み、また地域の方との交流を通して思い出を作ってみませんか？そして、石文化の情報発信をしましょう！

(8) お問い合わせ先

自治体名 石川県小松市	担当部署 経済環境部 環境王国こまつ推進本部
(ふりがな) なかはし みつる 担当者氏名 中橋 充	TEL : 0761-24-8078 (直通) FAX : 0761-23-6402
E-mail : mitsuru.n@city.komatsu.lg.jp	
URL : http://www.city.komatsu.lg.jp/	
応募宛先 〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおのし
No.- 25 : 福井県大野市 (人口 : 36,169 人(平成 25 年 1 月 1 日現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅下車 ⇒ JR越美北線 越前大野駅下車 (60 分)、
えちぜん鉄道勝山線 勝山駅下車車 (60 分)

(2) 事業実施の目的等

農村において、地域の家庭(農家)に滞在しながら、従事されているお仕事をお手伝(ボランティア)していただき、田舎暮らしや様々な職業に興味を持ち、理解を深めていただくことを目標の一つとしています。

(3) 体験の内容

『ふるさとワークステイ』

特別な体験内容はありません。普段の農家の生活の中で必要なお手伝いをしていただきます。

例えば、農作物の収穫や地域イベントのお手伝い。冬には雪かきのお手伝いもあります。お手伝いの内容は滞在する農家によって異なります。

例) 特産の里芋やネギの植え付け・収穫・出荷のお手伝い、田植え作業の補助、地域のお祭りのお手伝い、環境教育補助、古民家の清掃、作業小屋建築、雪かき

(4) 受入主体

奥越前まんまるサイト
(ノーム自然環境教育事務所内)

(5) 受入期間

時期 : 通年
期間 : 2泊以上 (内容によるので要相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 1泊3,500円~ (食事(朝・夕)、作業指導、保険含む)
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい日の2週間前まで
③宿泊施設	農家若しくは研修施設
④食事形態	宿泊農家先での食事か、研修施設での自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

一年を通じて、大野の自然や人の魅力をたっぷり活かした体験メニューを用意しています。受入農家さんと仲良くなって、この事業とは別に、それぞれで交流を進められている参加者もあり、大変好評をいただいています。体験内容や滞在期間は相談に応じます。意欲をもって来られる方であれば、未経験者大歓迎です。ぜひ参加いただき、大野の自然と人情に触れてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井県大野市	担当部署 一般財団法人 越前おおの農林楽舎
(ふりがな) つねわき ひろゆき 担当者氏名 常脇 宏之	TEL : 0779-66-1141 (直通) FAX : 0779-66-1142
E-mail : info@ono-gakusya.jp	
URL : http://www.ono-gakusya.jp/workstay/	
応募宛先 〒912-0082 福井県大野市大和町3番7号	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくいけんさばえし
No.-26 : 福井県鯖江市 (人口: 68,999人) H25. 1. 1現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸線 鯖江駅下車 ⇒ つつじバス(コミュニティバス) うるしの里会館前下車 25分

(2) 事業実施の目的等

『鯖江には素晴らしいものがたくさんあってアナタに見つけてもらえるのを待っています』
鯖江市は、国内でも有数の眼鏡・漆器・繊維の3つの地場産業を持ち、それぞれに見学や体験が行える産業振興拠点が整備されています。また、近郊の農村では農作業体験や伝統行事への参加ができ、地域資源を満喫できる田舎暮らしプチ体験も可能です。鯖江を訪れ、地元の方々との交流を通じて鯖江ファンになっていただくことが目的のひとつです。

(3) 体験の内容

失われつつある田舎の魅力を再発見するお手伝いをしてみませんか。
・地域行事への参加と協力(11月や2月: 伝統行事、9月: 歴史的町並みを活かしたアート展)
・田舎暮らし体験(春: 田植えと山菜採り、夏: 蛭鑑賞と流しそうめん、秋: そば打ちともちつき、冬: 漬物づくりと草鞋づくり など学校では教えてくれないコトが田舎にはたくさんあります)
・地場産業体験や伝統工芸士の工房見学ができます

(4) 受入主体

うるしの里食文化戦略協議会

(5) 受入期間

時期: 通年(月に1回ペース)
期間: 内容によりますので一度お電話ください

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費・食事代: 内容によるので一度ご相談ください
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい期日の1週間前まで
③宿泊施設	農家および公民館もしくは市内宿泊施設
④食事形態	宿泊先での食事か共同自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

鯖江市では、自由な発想、旺盛な行動力を持つ学生等の若者に焦点をあて、若者との連携を重点施策として捉えています。毎年、多くの学生等の若者が鯖江市を訪れ、インターンや市への施策提案、地域住民と交流を経験することにより、年々「鯖江ファン」が増加しています。是非、一度鯖江市を訪れ、鯖江の魅力を感じるとともに、地域活性化にあなたの力をお貸しください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 鯖江市	担当部署 産業環境部 特産づくり応援室
(ふりがな) たけうち よういち 担当者氏名 竹内 陽一	TEL: 0778-53-2232 (直通) FAX: 0778-51-8153
E-mail: SC-Tokusan@city.sabae.lg.jp	
URL: http://www.	
応募宛先 〒916-8666 福井県鯖江市西山町13-1 鯖江市役所内 特産づくり応援室	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

えちぜんし
No.-27 : 福井県越前市

(人口 : 84,794 人 (H24.10.1 現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 武生駅下車 (東京より約3時間20分)

(2) 事業実施の目的等

「源氏物語」の作者、紫式部がただ一度都を離れて暮らした地、越前市。豊かな自然や歴史に恵まれ、1500年の伝統を誇る越前和紙や越前打刃物の伝統産業などモノづくりが盛んなまちとしても知られています。また近年は、特産品である「白山すいか」やご当地B級グルメの「ボルガライス」など、食の人気も急上昇しています。

越前市では、魅力あふれる農村地域で、農業体験や伝統産業体験、農家民宿などを通して都市部の人々と交流することにより、地域の活性化を目指しています。

(3) 体験の内容

「本格的に農業に取り組んでみたい!」「田舎暮らしを体験しながら農作業のお手伝いをしてみたい!」などなどご希望に合わせたプログラムをご用意します!

●プログラム その① お百姓さんの助っ人

越前市で活躍しているお百姓さんの助っ人をしてみませんか?農業に関心があって、本格的に農作業に浸ろう!というタフなあなたに最適なプログラムです。

●プログラム その② 地域のイベントお手伝い

豊かな自然の中で開催されるイベントのお手伝いをしませんか?里地里山チャレンジ隊(東京と越前市内の子どもの交流・8月)や冬のいろりばた(2月)などのイベント運営をお手伝いしてみたい好奇心旺盛なあなたにおススメのプログラムです。

(4) 受入主体

ロハス越前 (TEL/FAX. 0778-43-0879)
(E-mail info@lohas-echizen.org)

(5) 受入期間

通年(農作業やイベントの時期や内容によりますので、一度お電話ください。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料(布団代のみ1回の滞在につき2,000円負担) 食事代: 朝、夕食は無料 昼食は1食500円
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい期日の1週間前まで
③宿泊施設	市内の農家民宿
④食事形態	宿泊先での食事
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

毎年、多くの大学生が越前市に訪れ、農業体験などを通じて地元の人々と交流を深めています。農村地域には、都会にはない地域の宝がいたるところに散りばめられています。越前市ならではの宝をぜひ探しに来てください。そして地元の人と共有してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 越前市役所	担当部署 産業環境部 農政課 振興係(グループ)
(ふりがな) きのした なおこ 担当者氏名 木下 直子	TEL: 0778-22-3009 (直通) FAX: 0778-23-9907
E-mail: nousei@city.echizen.lg.jp	
URL: http://www.	
応募宛先 〒915-0242 福井県越前市粟田部町9-1-9 越前市今立ふれあいプラザ内 ロハス越前	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-28 : ^{みなみ}山梨県南^しアルプス市 (人口 : 73,492 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR中央線甲府駅下車⇒山梨交通バス広河原下車
広河原山荘…徒歩すぐ 北沢駒仙小屋…市営バス 20分 白根御池小屋…徒歩(登山)3時間

(2) 事業実施の目的等

- ・山小屋での仕事を体験し、登山者が快適に過ごせるような環境づくりやおもてなしの心を実感してもらいたい。
- ・南アルプスの自然の魅力を知り、外へ広くPRする役割を担ってもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・宿泊者への食事の提供(補助)、小屋内の清掃作業などの山小屋の業務全般
- ・自然保護活動および安全登山に関わる作業等

(4) 受入主体

NPO法人芦安ファンクラブ
(<http://ashiyasu.com/>)

(5) 受入期間

7月中旬～8月中旬の平日
3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者自己負担 宿泊費：受入側負担 食事代：受入側負担
① 要件	健康で意欲があり、自然に興味のある方
② 応募締切り	参加を希望する日の3週間前まで
③ 宿泊施設	山小屋内従業員宿泊室
④ 食事形態	受入側で提供します。
⑤その他	参加者は各自で保険に加入してください。

(7) 地域担当者から一言

本市は南アルプスの麓に位置し、毎年全国から多くの登山客が訪れる自然豊かな環境にあります。山小屋での作業は、普段とは違ったリアルな視点から自然について考えることのできる貴重な体験となります。興味のある方は奮ってご応募下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 南アルプス市	担当部署 総合政策部「ふるさと愛」プロジェクト室 交流長寿プロジェクトチーム
(ふりがな) なかごみ ひさと 担当者氏名 中込 久人	TEL : 055-282-1216 (直通) FAX : 055-282-1112
E-mail : hisato@city.minami-alps.lg.jp	
URL : http://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/ (「地方体験交流」で検索)	
応募宛先 〒400-0241 山梨県南アルプス市芦安芦倉1570	南アルプス芦安山岳館

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ながのし

No.- 29 : 長野県長野市

(人口 : 386,938 人 (H25.1.1 現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR長野駅からアルピコ交通バスで約1時間

(2) 事業実施の目的等

中山間地域である戸隠地区における活動や体験、また地区住民との交流や意見交換を通じ、まちづくりへのヒントを提供してもらうとともに、学生から見た戸隠の潜在的資源の発見と、一人ひとりの学生が地域に貢献できる力を各自、見出していきたい。
これらの活動を通して、今後のまちづくりへの糧としたい。

(3) 体験の内容

- ・農業の手伝い
- ・地域行事への参加（お祭り、道路草刈 など）
- ・観光イベントの手伝い（信州戸隠トレイルラン、そば祭り など）
- ・住民との交流、まちづくりへの提案 など

(4) 受入主体

戸隠地区住民自治協議会

(5) 受入期間

8月～10月の間で、1週間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：費用の一部について助成を検討中 宿泊費：費用の一部について助成を検討中 食事代：費用の一部について助成を検討中
①要件	過疎地域における地域再生やまちづくりに関心があり、自主的・意欲的に行動できる大学生又は大学院生
②応募締切り	6月28日（金）
③宿泊施設	地区内の旅館、民宿、ペンション等を紹介
④食事形態	宿泊施設で提供 及び 体験活動内で提供 など
⑤その他	作業ができる服装

(7) 地域担当者から一言

近年、パワースポットとして注目される戸隠神社が鎮座し、戸隠そばがおいしい里です。しかしながら、過疎化と高齢化が進み、農地の保全、集落の維持、伝統文化の継承が危ぶまれている状況です。今、戸隠は若者の力と英知を必要としています。
まずは、ありのままの戸隠と住民との交流を体験してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長野市	担当部署 地域振興部 戸隠支所
(ふりがな) みやがわ さとる 担当者氏名 宮川 悟	TEL : 026-254-2323 (直通) FAX : 026-254-3883
E-mail : togakushi@city.nagano.lg.jp	
URL : http://www.city.nagano.nagano.jp	
応募宛先 〒381-4102 長野県長野市戸隠豊岡1554	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-30 : ^{りっとうし} 滋賀県栗東市 (人口：66,348人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

栗東市役所まで
JR草津線 手原駅下車 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

- ① 観音寺地区では、琵琶湖や比叡山を望む美しい眺望が楽しめる「天水の里 観音寺」での定住促進に向けた交流事業への企画・実践等。とくに、観音寺での体験交流自体を通じて、今後の景観まちづくり活動に向けた若者視点での話し合いをしたい。
- ② 安養寺地区では、市役所周辺のにぎわい創出に向け、花と緑によるコミュニティ・ガーデンづくりや、住民と事業者の連携企画等多様な角度での取組みを進めている。とくに、若者の視点での地域の魅力の創出に向け、意見交換やプロジェクトの企画・実践を進めたい。

(3) 体験の内容

- ① 観音寺地区
・ 農林業等での交流事業、若者によるプロジェクトの企画・実践など
- ② 安養寺地区
・ 地元を中心とするまちづくりグループに参画しプロジェクトの企画・準備・実践など

(4) 受入主体

- ① 観音寺：観音寺天水木族
- ② 安養寺：安養寺景観まちづくり協議会
(栗東市都市計画課がサポート)

(5) 受入期間

- ①、②ともに未定です。
ご希望があれば相談に乗ります。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費： 自己負担 (ただし、ホームステイなどの相談に乗ります) 食事代： 自己負担
①要件	熱意
②応募締切り	随時
③宿泊施設	問い合わせ先に相談ください。
④食事形態	同上
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

景観を切り口にした多様なまちづくり活動を展開しています。里山や農村集落に興味のある方は①に、ガーデニングやマーケティングなどに興味のある方は②の地域で、若い力を存分に発揮してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 栗東市	担当部署 建設部都市計画課 景観まちづくり係
(ふりがな) たけやまかずひろ 担当者氏名 竹山和弘	TEL : 077-551-0116 (直通) FAX : 077-552-7000
E-mail : takeyama-kazuhiro@city.ritto.lg.jp	
URL : http://www.city.ritto.shiga.jp/	
応募宛先 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号 栗東市役所 都市計画課 宛	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かわかみむら
No.-31 : 奈良県川上村 (人口 : 1706人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線大和上市駅下車 奈良交通バス「湯盛温泉杉の湯」行 川上村役場前下車
 所要時間：大和上市駅よりバスで約30分

(2) 事業実施の目的等

山村での生活体験がない都市部の若者に体験機会を提供し、外部から見た川上村の取り組みについて提案・提言をしていただき、「水源地の村づくり」に活かしていきたい。
 また、事業実施後も川上村の応援団として村づくりに関わってもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・吉野林業について、樽丸作り体験
- ・地域のイベントへの参加・手伝い(盆踊り等)
- ・森と水の源流館 臨時スタッフ(環境教育について学ぶ)
- ・達っちゃんクラブ 臨時スタッフ(自然体験型イベントの準備・実施)

※体験内容はできる限り参加者の意向に沿って組み立てます。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

川上村	8月初旬～中旬 14日間
-----	--------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 費用相当分の賃金支給有り
①要件	地域づくりに興味のある方
②応募締切り	7月12日(金)(定員をこえた場合は審査を行います) 指定の参加申込書及び小論文(HP参照)を下記応募先まで郵送して下さい。
③宿泊施設	交流滞在の家・(財)グリーンパークかわかみ従業員宿舎 宿泊形態：共同生活
④食事形態	基本的には自己負担(昼食は弁当を準備します)
⑤その他	川上村地域づくりインターンHPをご覧ください。 詳細は担当者にお問い合わせ下さい。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南東部に位置し、吉野川・紀の川の源流にあたる水源地の村です。過疎地域における行政の取り組みや地域づくり、林業や環境教育などに興味がある方はぜひご参加ください。私たちと一緒に新しい地域づくりに取り組んでみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 川上村	担当部署 水源地の村づくり課
(ふりがな) はせ よしたか 担当者氏名 長谷 良敬	TEL : 0746-52-0111 (内線) 21 FAX : 0746-52-0345
E-mail : suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp	
URL : http://www.vill.kawakami.nara.jp/intern/ 川上村地域づくりインターンHP http://www.vill.kawakami.nara.jp/ 川上村HP	
応募宛先 〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫 1335-7	川上村役場水源地の村づくり課

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-32 : ^{きみのちょう}和歌山県紀美野町 (人口 : 10,334 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティバスで紀美野町国吉診療所前へ 海南駅から登山口まで約 30 分 登山口から国吉診療所前まで 26 分

(2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように
里山体験・交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気づくように
一緒に汗をかきながらアイデアを注入してくれる皆さんを募集します。

(3) 体験の内容

①セミナーハウス未来塾の仕事全般 ②セミナーハウス未来塾周辺の町有林の保全
③自然体験、野外活動などの企画、サービス提供 ④レクリエーションプログラムの企画、提供
⑤農村、里山の情報発信 ⑥エリアツーリズムインフォメーションの整備 など

(4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾
(<http://www.kimino.jp/miraijuku/>)

(5) 受入期間

7月20日(土)～9月1日(日)
44日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：食事形態欄を参照
①要件	○仲間と話し合っアイデアを出し一緒に行動できる人 ○健康で自然が好きな人 (できれば運転免許を持っている人)
②応募締切り	滞在開始希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、受入団体まで郵送して下さい。
③宿泊施設	紀美野町セミナーハウス未来塾
④食事形態	滞在期間中はまかない料理を提供 (提供できない場合は当館規定金額を支払います。自炊可。)
⑤その他	2週間(最低でも10日)以上 の滞在者を希望します。

(7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心を込めた精一杯の接客体験と
自らのアイデアで過疎化の地域を活性化する体験が得られますよ！

(8) お問い合わせ先

自治体名 紀美野町	担当部署 紀美野町セミナーハウス未来塾
(ふりがな) ひらいつぐじ 担当者氏名 平井二嗣	TEL : 073-498-0521 (直通) FAX : 073-498-0531
E-mail : miraijuku@kimino.jp	
URL : http://www.kimino.jp/miraijuku/	
応募宛先 〒640-1363 和歌山県海草郡紀美野町田 25 番地	紀美野町セミナーハウス未来塾 (平井宛)

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-33 : ^{きみのちょう}和歌山県紀美野町 (人口: 10,334人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティーバスで神野市場下車
JR 海南駅から登山口まで約 30 分、登山口から神野市場まで 20 分

(2) 事業実施の目的等

豊かな自然に囲まれ、昔ながらの山の中の農村として暮らしを営んできた地域で、用意されたプログラムを体験するのではなく、参加者の「やりたいこと」をお聞きして地元の普段の生活、仕事に入り込んで体験ができる企画です。「農作業」「農家民泊、宿泊施設」「地域イベント」「カフェ」等、地域のお手伝いを通じて「ほんまもの田舎暮らし」を体験してみたい方を募集します

(3) 体験の内容

農作業のお手伝い、農家民泊のお手伝い、緑花木の手入れ、地域イベントのお手伝いなど
ご希望の体験内容・参加日程をお聞きして、その時期に実施できる体験プログラムを調整します。
ただし、時期によっては実施できない作業もございますので、詳しくはお問い合わせください。

(4) 受入主体

特定非営利活動法人
きみの定住を支援する会

(5) 受入期間

4月1日(金)～3月31日(日)
1年の内の希望期間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料（きみの定住を支援する会で用意します） 食事代：自己負担※
① 要件	自然・田舎が好きで健康な人、コミュニケーション好きでまわりと協調して行動できる人、運転免許を持っている人（交通手段がとても不便なため）
② 応募締切	滞在期間希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項記入の上、受け入れ団体まで郵送してください。
③ 宿泊施設	定住体験施設 木市 など町内施設
④ 食事形態	自己負担（※体験施設にて自炊可能）
⑤ その他	1週間のショートステイ、または2週間以上の長期間滞在者を希望します 詳しくは電話、メールにて対応させていただきます。

(7) 地域担当者から一言

紀美野町では就農・定住の総合帰住事業を行っています。地域の方と一緒に汗をかいて、がっつりと本当の田舎暮らしを体験してみませんか？将来就農したい、田舎で働きたいと考えている方や、地域づくりについて学びたいと考えている方にオススメです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 紀美野町	担当部署 産業・建設室
(ふりがな) にしおかやすみち 担当者氏名 西岡靖倫	TEL : 073-495-2339 直通 FAX : 073-495-2339
E-mail : nishioka-y@town.kimino.lg.jp	
URL : http://www3.plala.or.jp/kiminoteiju/index.html	
応募宛先 〒640-1243 和歌山県海草郡紀美野町神野市場 226-1	きみの定住を支援する会

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 3 4 : ^{ひ だかがわちょう}和歌山県日高川町 (人口 : 1 0 , 7 5 2 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR新大阪駅から特急電車でJR御坊駅まで約100分。御坊駅から車で30分。
(路線バスで高津尾バス停まで約50分。徒歩3分)
大阪から近畿自動車道や阪和自動車道を経て川辺ICへ。川辺ICから約15分。

(2) 事業実施の目的等

・関西の田舎暮らし人気No.1の町で、地域作りに参加しませんか？
日高川町には不定期で学生が調査や農作業の手伝いに来て、新しい視点や提案により地域活性化につながっています。多くの学生さんに新たな提案・活躍をして頂きたい。また、大学生の合宿や研修誘致の際に、ご活躍頂きたいと思っています。

(3) 体験の内容

・体験型観光のインストラクター補助。(間伐体験、手作り体験、農家民泊などのお手伝い。)
・ゆめ倶楽部21の事務の手伝い。
・農業や地域行事のお手伝い。

(4) 受入主体

日高川町 ゆめ倶楽部21

(5) 受入期間

7月～10月の期間
(出来れば1週間以上)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1/2補助 食費：自己負担
① 要件	特になし。大学生及び大学院生で、田舎や人とのふれあいが好きな方。研究意欲が旺盛な方。(受入人数に制限があり、希望に添えない場合があります。)
② 応募締切り	特になし。 滞在希望日の1ヶ月前までをお願いします。
③ 宿泊施設	農家民泊「風呂谷ビレッジ」(1泊3千円)ほか
④ 食事形態	基本的に自炊です。 (食事付きの農家民泊もあります。)
⑤ その他	作業ができる服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

本町は都会からの移住者が多い町です。地元住民と移住者が協働して地域づくりに取り組む「ゆめ倶楽部21」との交流は価値あるものと思います。また、農家の普段の生活や集落自治がままならない地域をそのまま体験していただき調査研究を深めていただければと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名	日高川町	担当部署	ゆめ倶楽部21(まちみらい課内)
(ふりがな) 担当者氏名	とね やすふみ 戸根 康文	TEL : 0738-54-0338(直通) FAX : 0738-54-0174	
E-mail :	yumeclub@town.hidakagawa.lg.jp		
URL :	http://www.town.hidakagawa.lg.jp/yumeclub (「ゆめ倶楽部21」で検索)		
応募宛先	〒644-1122 和歌山県日高郡日高川町大字高津尾718-3		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-35 : 島根県^{おおだし}大田市 (人口 : 38,345 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陰本線 大田市駅下車	徒歩 15分
山陰道 出雲ICから国道9号	35分
浜田道 江津ICから国道9号	45分

(2) 事業実施の目的等

平成19年から継続している「石見銀山国際ワークキャンプ」の13回目を開催します。
 国内及び国外の青年たちと共に、2週間のボランティア合宿をし、世界遺産「石見銀山遺跡」の環境保全活動を行います。

(3) 体験の内容

- ・石見銀山の竹林の伐採による環境整備
- ・小学校での国際交流事業
- ・大田市秋の彼岸市で市民イベントコーナーを出展

(4) 受入主体

NPO 緑と水の連絡会議
 日本国際ワークキャンプセンターNICE

(5) 受入期間

平成25年9月9日(月)～9月24日(火)
 15泊16日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：NPO 緑と水の連絡会議が負担します。 食事代：NPO 緑と水の連絡会議が負担します。
①要件	世界遺産での環境保全、国際交流に関心のある方(英会話初級レベル以上)
②応募締切り	平成25年8月20日(火)
③宿泊施設	ゆきみーる(私設公民館 大田町市街地に立地) 男女別相部屋
④食事形態	共同で自炊(食材と施設は提供します。)
⑤その他	日本人募集枠4名(外国人4名 計8名)

(7) 地域担当者から一言

世界遺産を守る活動に参加できます。海外の青年たちと共に汗を流すことで世界中に友達が広がります。 昨年の活動の様子は緑と水の連絡会議のブログをご参照ください。
<http://www.iwami.or.jp/ohgreen/>

(8) お問い合わせ先

自治体名 大田市	担当部署 総務部まちづくり推進課 定住交通係
(ふりがな) おおさこ かずし 担当者氏名 大迫 一司	TEL : 0854-82-1600 (代) (内線 211) FAX : 0854-82-5885
E-mail : o-matidukuri@iwamigin.jp	
URL : http://www.city.ohda.lg.jp/	
応募宛先 〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 376-1 NPO法人 緑と水の連絡会議 事務局 ☎0854-82-2727	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ながとし
No.-36 : 山口県長門市 (人口 : 38,030 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車 JR美祢線 長門湯本駅下車 サンデnbバス 長門湯本駅ー俵山公民館前 20分

(2) 事業実施の目的等

都市の若者の受入や地域住民との交流等を通じて、外部の若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加 (地域住民との交流、スポーツ活動)
- ・ 温泉、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加 (フリーペーパー、情報誌、ホームページ等)

(4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8月 上旬 ~ 8月 下旬
14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 受入費用：3万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
②応募締切り	平成25年 7月 5日 (金) 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

受入地域となる俵山地区は、夏でも涼しく、人も自然もマイナスイオンたっぷりの昭和風情が今も残る温泉地域です。現在、NPO法人が主体となった俵山公園を発足させ、小さな政府を目指して活動中です。地域住民と一緒に考え、あなたのフレッシュな意見を求めています。
その他、海上アルプス青海島や金子みすゞ記念館、香月泰男美術館など見所たっぷりです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな) 担当者氏名 ふじしま ひではる 藤嶋 秀治	TEL : 0837-23-1229 (直通) FAX : 0837-22-0135
E-mail : chosei@city.nagato.lg.jp	
URL : http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/ http://tawarayama.jp/	
応募宛先 〒759-4192 山口県長門市東深川1339番地2	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 7 : ^{みなみちよう} **徳島県美波町** (人口 : 7, 7 3 4 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R牟岐線 日和佐駅下車 徒歩 1 5 分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・地域の漁業、農業体験
- ・地域での滞在及び地域内各種行事等への参加及び交流
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い
- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7月下旬～8月下旬での14泊15日を予定
 ※参加学生の方と相談し日程を決定します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：美波町負担（最寄りターミナル駅もしくは空港から美波町まで） 宿泊費：美波町負担 食事代：「④食事形態」のとおり
①要件	・地域づくり、観光・農林水産業の振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報「みなみ」に掲載します。）
②応募締切り	平成25年6月25日（※当日消印有効） ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④食事形態	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定（美波町負担）。
⑤その他	・申込前に担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

NHK 朝の連続テレビ小説『ウェルかめ』の舞台地で、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。地域づくり活動も盛んな地域ですので、是非若い方の活力を美波町に！不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問合せ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) カガトヨシコ 担当者氏名 永本 嘉彦	TEL : 0884-77-3611 (直通) FAX : 0884-77-1666
E-mail : somu@town.minami.lg.jp	
URL : http://www.town.minami.tokushima.jp	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

うわじまし
No.-38 : 愛媛県宇和島市

(人口 : 84,296 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR伊予吉田駅(いよよしだ)から徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

愛媛県宇和島市はみかんの代表的な産地です。
夏と秋の忙しい時期にお手伝いをしていただける方を募っています。
果樹栽培の状況を知ったり、地域農業の現場を見ていただきたいです。
都市圏との交流も目的です。

(3) 体験の内容

忙しいみかん農家のお手伝いをしていただく内容です。
主に、夏は摘果(てきか)、秋は収穫のお手伝いです。
農家民泊で、全国から来る様々な参加者との交流も深まります。

(4) 受入主体

宇和島市役所

(5) 受入期間

夏 : 7月海の日前後
秋 : 11月勤労感謝の日前後
3泊4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 無料 食事代 : 無料
①要件	特になし
②応募締切り	夏 : 7月1日(月)、秋 : 11月1日(金)、ただし、定員満了になれば締切
③宿泊施設	受入農家で民泊
④食事形態	農家民泊で朝、昼、晩提供
⑤その他	作業ができる服装、保険証のコピー、長靴

(7) 地域担当者から一言

平成20年から受入してもう6年目です。今まで延べ200名ほどの方が来られました。みかん山からの眺めは素晴らしいですよ。秋はみかん食べ放題です。ホームページで内容ご紹介してます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇和島市	担当部署 産業経済部商工観光課雇用対策係
(ふりがな) ござくら ひろき 担当者氏名 小櫻 博規	TEL : 0895-49-7023 (直通) FAX : 0895-25-4907
E-mail : shoko@city.uwajima.lg.jp	
URL : http://www.city.uwajima.ehime.jp/kisaiya/usw/usw.html	
応募宛先 〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地 宇和島市役所 商工観光課 担当 小櫻 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

えひめけん やわたはまし

No.-39 : 愛媛県八幡浜市

(人口 : 38,201人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR八幡浜駅より車で30分

(2) 事業実施の目的等

日本一のみかん産地である真穴地区も高齢化が進み、収穫協力者も減っていることから、若者の定着対策とみかんの一番美味しい収穫期に都会の若い方にみかんの収穫作業に参加していただくことで、農村と農業への理解を深めてもらい、同時に消費者との交流を通じて、地域の産業・文化をアピールし、後継者の育成と地域の活性化につなげることを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・みかん収穫ならびに選別作業
- ・運搬作業
- ・選果選別作業 (選果場)
- ・積込運搬作業 (選果場)

(4) 受入主体

真穴みかんの里雇用促進協議会

(5) 受入期間

11月15日～12月15日の1か月間を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：期間満了者には往復交通費支給 (一部自己負担) 宿泊費：無料 食事代：無料
①要件	18歳以上 (男女不問) ※特に元気な方や女性大歓迎！
②応募締切り	例年10月中旬 ※11月初旬に東京・大阪会場で面接を実施
③宿泊施設	宿泊は、農家で数名ずつのホームステイ。又は選果場担当は、宿泊施設での共同生活！
④食事形態	食事付き (自己負担なし)
⑤その他	期間中は、仕事も食事も生活の全てがホームステイ先の農家と一緒にです。

(7) 地域担当者から一言

太陽と海の風を思いっきり浴びたみかんの味知ってますか？温かい日差しと、潮の香りを感じながらのお仕事。夕日もすごくきれい。愛媛の大自然を感じていると仕事なのになぜか癒されます。温泉ツアーや釣り大会もやりますよ。

(8) お問い合わせ先

自治体名 八幡浜市	担当部署 産業建設部 農林課 農林振興係
(ふりがな) きくち としひで 担当者氏名 菊池 敏秀	TEL : 0894-22-3111 (内線) 452 FAX : 0894-24-6180
E-mail : kikuti-toshihide@city.yawahama.ehime.jp	
URL : http://www.city.yawahama.ehime.jp	
応募宛先 〒796-8501 愛媛県八幡浜市北浜一丁目1番1号	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

さがわちょう
No.- 4 0 : 高知県佐川町 (人口 : 13,925 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 西佐川駅より路線バス黒岩観光バス 10分、宮ノ前停留所下車徒歩 3分

(2) 事業実施の目的等

佐川町内 4 軒の酪農家と乳業会社とが取り組む「さかわの地乳プロジェクト」の核となる酪農家に密着し、酪農家の仕事や暮らしを学ぶ。

(3) 体験の内容

(1)乳牛飼養業務の補助
(2)搾乳から出荷業務補助
(3)自給飼料とたい肥の作り方を学ぶ
(4)酪農運営(経営)について学ぶ
(5)地乳(ぢぢち)について学ぶ。
※時期により内容は異なります。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

佐川町	要相談 研修期間 1ヶ月
-----	-----------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：実費 宿泊費：実費 食事代：実費 研修費：5万円予定
①要件	1) コミュニケーション能力を有し、人と協力し合って物事を進めることができる方。 2) 性別・年齢不問。 3) 要自動車免許(MT)。 4) 動物が好きな方。
②応募締切り	随時、要相談 平成 25 年 12 月末
③宿泊施設	自動車で 10 分程度の借家(その他の交流生との共同生活の可能性有り)
④食事形態	研修先の家族と共に
⑤その他	募集開始を 25 年 6 月以降予定

(7) 地域担当者から一言

しっかり目的意識をもって取り組んでももらいたいです。単なる遊びではなく、酪農にかけてみたい!と本気で思っている人がいたら是非来てください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐川町	担当部署 産業建設課 農林商工観光室
(ふりがな) わだ つよし 担当者氏名 和田 剛	TEL : 0889-22-7708 (直通) FAX : 0889-22-4950
E-mail : 佐川町ホームページ問い合わせフォームにより問い合わせ下さい	
URL : http://www.town.sakawa.kochi.jp/	
応募宛先 〒789-1292 高知県高岡郡佐川町甲1650-2 25年2月1日現在 応募方法は検討中であるため、平成25年4月以降要問い合わせ	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

つしまし
No.- 4 1 : 長崎県対馬市 (人口 : 34, 251 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

<ul style="list-style-type: none"> ・博多港からフェリーで5時間50分(比田勝航路)～比田勝港から車で45分 ・韓国釜山港からジェットフォイルで1時間10分(比田勝航路)～比田勝港から車で45分 ・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で35分～対馬空港から車で1時間10分

(2) 事業実施の目的等

地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて対馬の地域活性化を図るため、実践型合宿実習「島おこし実践塾」を実施します。
--

(3) 体験の内容

地域おこしに関する現場当事者や経験豊富な講師陣の指導のもと、農地を再生する活動や空き家となった古民家を自分たちで清掃・修繕する活動等を通じて、地域再生や環境保全に関する課題、現場で必要なノウハウ・スキルを学びます。実習中は4～5名のグループに分かれ、グループ内で地域再生プランを作成し、最終日に地域住民や行政関係者を交えた発表会を行います。
--

(4) 受入主体

対馬市

(5) 受入期間

平成25年8月～9月中 4泊5日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(※島内交通費は無料) 宿泊費：無料(予定) 食事代：自己負担 ※テキストや保険代は無料
①要件	大学生、大学院生、社会人等で、将来、自然や文化が色濃く残る地域社会への移住、自然環境保全や地域振興など、社会貢献度が高く使命感に溢れる仕事を希望する方、ソーシャル・ビジネスに関心のある方30人を受け入れます
②応募締切り	平成25年6月～7月中に募集予定
③宿泊施設	民家へのホームステイを予定
④食事形態	3食自己負担(地域の方々による炊きだし、宿泊先での提供、弁当等)
⑤その他	募集の詳細(募集要項)は平成25年5～6月頃に対馬市のHPに掲載いたします

(7) 地域担当者から一言

離島振興や地域振興に感心を持ち、現場で自ら学び取る熱意のある方のご応募をお待ちしております。「将来的な先進事例の見学者」ではなく、「先進事例を創り上げる1人の主体・当事者」として実践塾を通じてこの地域おこし活動にご参画ください。
--

(8) お問合せ先

自治体名：対馬市	担当部署：地域再生推進本部 協働のまちづくり推進グループ
(ふりがな) まえだつよし・うちやまなおこ 担当者氏名 前田剛・内山直子	TEL：0920-53-6111 (内線) 468 FAX：0920-53-6112
E-mail：tiikisaisei@city.nagasaki-tsushima.lg.jp	
URL： http://www.city.tsushima.nagasaki.jp/live/kouhou/images/201210/02.pdf (H24年度様子)	
応募宛先 〒817-8510 長崎県対馬市巖原町国分1441	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 2 : おぢかちょう **長崎県小値賀町** (人口 : 2,830 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【福岡県博多港より】	野母商船「フェリー太古」にて約5時間半(1日1便)
【長崎県佐世保市より】	九州商船「フェリーなるしお」にて約3時間(1日2便)
	九州商船高速船「シークイーン」にて1時間40分(1日2便)

(2) 事業実施の目的等

若者(学生)が約1ヶ月間にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方の良さを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言・評価を行ってほしいと思います。また同時に小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やUターン促進のきっかけづくり等に役立てるといった目的で実施します。

(3) 体験の内容

- ・ 農業、漁業、福祉事業などの体験(稲作、イサキの夜釣り体験、老人ホーム職場体験等)
- ・ 当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、キャンプリーダーや自然体験活動等の体験
- ・ 島ならではの文化にふれる民泊体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・ 島の若者や、各産業との意見交換

(4) 受入主体

(5) 受入期間

小値賀町	平成25年8月上旬~9月上旬(予定)
------	--------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：原則自己負担 体験料：無料
①要件	島暮らしに興味がある方、第一次産業と観光の連携に興味がある方で何事にも積極的に参加し、自論を人前で発表できる方
②応募締切り	平成25年6月28日(金)必着 定員5名 別添の募集地域参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、下記担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	セミナーハウス(町宿泊施設)
④食事形態	基本的に自炊(共同調理) 民泊では、民泊家族と朝・夕を一緒に料理
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

今までインターンで来た学生たちは「小値賀中毒症」になって帰って行きました。この町(島)には一度来ると病み付きになる大自然・美味しい魚や野菜、そして何より家族のようにあたたかい島民がたくさんいます。今まで出来なかったような体験を通して、あなたのフレッシュな感覚を、あすの小値賀の町づくりに活かしてみませんか!

(8) お問い合わせ先

自治体名	小値賀町	担当部署	総務課企画振興班企画係
(ふりがな)	えがわこうたろう	TEL	: 0959-56-3111 (内線28)
担当者氏名	江川 孝太郎	FAX	: 0959-56-4185
E-mail	: soumuka@ojika.net		
URL	: http://www.ojika.net/		
応募宛先	〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地1 小値賀町役場総務課		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 3 : おぐにまち 熊本県小国町 (人口 : 8, 000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR豊肥本線阿蘇駅から産交バスで1時間 (おぐにゆうステーション下車)
JR鹿児島本線博多駅から西鉄バスで2時間半 (おぐにゆうステーション下車)

(2) 事業実施の目的等

若い世代の外部からの感性を町に取り入れる。

(3) 体験の内容

1. 町内の農産物直売所の販売企画提案や看板作成。
2. 当事業の宿泊施設内に遊具の作成。(子どもを対象とした自然学校等で活用予定)
3. 町内で飲食店を営む若手グループが開催するイベントへのスタッフ参加。
4. U I J ターン事業への協力

(4) 受入主体

(財) 学びやの里

(5) 受入期間

8月中旬～ 9月上旬
約16日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：自己負担 (1～1.5万円程度)
①要件	創造力と機動力を持った明るく元気な学生
②応募締切り	平成25年5月31日
③宿泊施設	研修宿泊施設 木魂館 (もっこんかん)
④食事形態	基本的に自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

当町、当施設にはこれまでも数多くの学生がインターンに訪れ、その後も交流の輪が広がっています。農村の地域づくりや生活に興味のある学生を待っています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小国町	担当部署 情報課 企画係
(ふりがな) はせべだいすけ 担当者氏名 長谷部大輔	TEL : 0967-46-2113 (直通) FAX : 0967-46-4980
E-mail : daisuke@town.kumamoto-oguni.lg.jp	
URL : http://www.manabiyanosato.or.jp/	
応募宛先 〒869-2592 熊本県阿蘇郡小国町宮原 1567-1 小国町役場情報課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. - 4 4 : 大分県 おおいたし 大分市 (人口 : 4 7 7, 6 6 5 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

[空]東京(羽田)・大阪(伊丹)・名古屋(中部国際)→大分空港 市中心部までエアライナーで 60 分
[電車]JR 大分駅下車 日豊本線・博多から約 2 時間 豊肥本線・熊本から約 3 時間 久大本線・久留米から約 2 時間 20 分 [高速バス]博多バスターミナルから約 2 時間 30 分 [車]大分自動車道光吉 IC 下車 ※大分市役所から受入地区まで車で約 50 分

(2) 事業実施の目的等

援農ボランティア活動を通し、地域農業への理解を深めてもらう。

(3) 体験の内容

施設園芸作物・シイタケ等の調整・収穫作業、その他の農作業全般

(4) 受入主体

野津原のびるの会(認定農業者グループ)

(5) 受入期間

応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	交通費：自己負担 宿泊費：原則無料 食事代：自炊分は自己負担 ※ボランティア保険は、受入側にて負担します。
①要件	都市部居住の大学生グループ(研究室やサークル)で 3~10 名程度まで 農業や農村(中山間地域)に興味のある健康な人
②応募締切り	随時受付
③宿泊施設	公共宿泊施設(旧中学校施設)
④食事形態	作業時間内の食事は農家が用意、それ以外は公共宿泊施設での自炊となります。
⑤その他	JR 大分駅から現地までの送迎は、受入主体との相談となります。 但し、農家の作業状況によっては受入出来ない場合もあります。

(7) 地域担当者から一言

市内農村地域では、年々、高齢化の進行や後継者がいない等の問題が深刻化しており、健全な農業環境を維持していくことが困難な状況に現実化しています。そのような中、農村の実情を体験してもらい、農家との家族的な付き合いや、ボランティアでの協働作業等を通じ、農業・農村の魅力と厳しさ、産品への愛着など、都会での日々の暮らしにはない、新たな発見と感動が生まれ、参加者にとって、また訪れたいような「第二のふるさと」となることを期待しています。農村の生活を直に肌で感じていただくとともに、是非、参考となる意見や斬新な発想を教えてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大分市	担当部署 商工農政部 産業振興課 地域産業育成担当班
(ふりがな) はら のりあき 担当者氏名 原 範 明	TEL : 0 9 7 (5 3 7) 7 0 2 5 (直通) FAX : 0 9 7 (5 3 3) 6 1 1 7
E-mail : sangyosinko2@city.oita.oita.jp	
URL : http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1205892953174/index.html	
応募宛先 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号 大分市役所産業振興課 まるごと田舎暮らし体験事業担当者 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 5 : 鹿児島県薩摩川内市(甑島地域) (人口: 5, 576人「H22 国勢調査」)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

空路) 鹿児島空港 (95分: 東京) → 川内駅 (70分バス) → 串木野新港 (35分バス) → 甑島各港 (最短75分)
陸路) 福岡駅 (最短71分新幹線) → 川内駅 (70分バス) → 串木野新港 (35分バス) → 甑島各港 (最短75分) 所要時間はすべて見込み時間 船は、フェリーと高速船 甑島の各港時間はフェリー、高速船は50分

(2) 事業実施の目的等

高等教育機関のない甑島を大学等の学外活動の場として提供し、甑島の有する豊かな自然や文化を理解してもらうとともに、地域住民も参加できる公開講座等の開催により、交流人口の拡大やUIターンの促進を図る。

(3) 体験の内容

事業について下記の行程となります。
ア 甑島地域において、本市指定のテーマで実施する調査・研究等事業に応募、審査決定後、実施する。
イ 事業成果を本市指定の方法により、実施した地域に還元するものとする。
ウ 事業終了報告と同時に奨励金の申請
エ 申請書に基づき、本市から奨励金を支給

(4) 受入主体

(5) 受入期間

薩摩川内市	平成25年7月1日(月)～平成26年2月28日(金) 8カ月
-------	--------------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、宿泊費、食事代: すべて自己負担
①要件	薩摩川内市の甑島におけるアイランドキャンパス事業への取り組みを希望する大学・短大等高等教育機関の学生等で構成された <u>10名以上の団体</u>
②応募締切り	平成25年5月31日(金)
③宿泊施設	ホテル、民宿(夏期(7/21～8/31)は、公営のキャンプ場が有ります。)
④食事形態	ホテル、民宿は朝夕を提供(昼食は自由) 公共施設は自炊
⑤その他	車両航送の場合は要予約 甑島商船(0996-32-6458)

(7) 地域担当者から一言

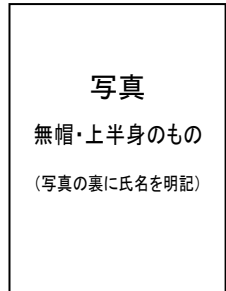
大学のゼミ単位の申し込みなので、離島体験の初心者向けといえます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 薩摩川内市	担当部署 企画政策部 企画政策課 甑島振興グループ
(ふりがな) やました しんじ 担当者氏名 山下 真司	TEL: 0996-23-5111 山下(内線4841) FAX: 0996-20-5570
E-mail: koshikijima@city.satsumasendai.lg.jp	
URL: http://www.	
応募宛先 〒 895 - 8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号	

平成25年 月 日 現在

募集地域参加申込書



- ふりがな
 1. お名前： (男・女)
 2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地：)
 * 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)
 学校、学部名： () 年
 * 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等：
 * 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所
 〒 —

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。
 (『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： Eメール(PC)：

電話(携帯)： Eメール(携帯)：

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： _____

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

*各テーマ400字程度でまとめてください。
*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

連絡先

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

